Marshall

Broadcast A/V Division

CV630-BI/WI/ND3/ND3W

UHD IP/NDI® PTZカメラ



取扱説明書

NDIは Vizrt Group の登録商標です。

Marshall

目次

注　意 2

1. 安全に関する指示 3

2. 内容物 4

3. 機能の紹介 5

3.1 I/O機能の紹介 5

3.2 LEDインジケータの説明 7

3.3 タリーインジケーターライトの機能説明 7

4. 設置手順 8

4.1 設置前の準備 8

4.2 設置手順 8

4.3 デバイスの接続 15

5. リモコンと設定メニュー 19

5.1 リモコンの機能 19

5.2 設定メニュー 20

6. ネットワーク機能設定の説明 25

6.1 カメラをネットワークに接続する 25

6.2 Webページの機能説明 27

7. DIPスイッチ設定 43

8. トラブルシューティング 44

保証・サポート窓口 45

注　意



この記号は、この機器に感電を引き起こす可能性のある危険な電圧が含まれている可能性があることを示しています。



この記号は、このユニットのユーザーマニュアルに重要な操作およびメンテナンスの指示が記載されていることを示します。

1. 安全に関する指示

この製品をセットアップして使用するときは、必ず次の安全手順に従ってください。

1.操作

1.1 製品は水や熱源から離れた推奨動作環境で使用してください。

1.2 製品を傾いた位置や不安定な台車、スタンド、テーブルに置かないでください。

1.3 ご使用前に電源プラグのほこりを取り除いてください。
火花や火災を防ぐため、製品の電源プラグをマルチプラグに差し込まないでください。

1.4 製品本体のスロットや開口部を塞がないでください。これらは通気性を確保し、製品の過熱を防ぎます。

1.5 カバーを開けたり取り外したりしないでください。危険な電圧やその他の危険にさらされる可能性があります。
すべてのメンテナンスは、資格を持ったサービス担当者にご依頼ください。

1.6 以下の状況が発生した場合は、製品のプラグを壁のコンセントから抜き、資格を持ったサービス担当者に修理を依頼してください。

- 電源コードが破損または擦り切れている場合。
- 製品内に液体がこぼれた場合、または製品が雨や水にさらされた場合。

2.設置

2.1 安全上の考慮のため、ご購入いただいた標準吊り下げラックがULまたはCEの安全認証に準拠していること、および代理店が承認した技術者によって設置されていることを確認してください。

3.保管

3.1 コードを踏むような場所に置かないでください。コードやプラグが擦り切れたり損傷したりする恐れがあります。

3.2 雷雨のときや長期間使用しない場合は、製品のプラグを抜いてください。

3.3 製品や付属品を振動する機器や加熱された物体の上に置かないでください。

4.清掃

4.1 清掃の前にすべてのケーブルを外し、乾いた布で表面を拭いてください。
清掃にはアルコールや揮発性溶剤を使用しないでください。

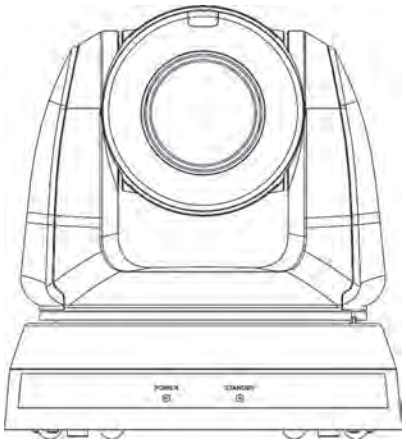
5.電池（電池付きの製品または付属品）

5.1 電池を交換する際は、類似または同じ種類の電池のみを使用してください。

5.2 電池または製品を廃棄する場合は、お住まいの国または地域の電池または製品の廃棄に関する関連指示に従ってください。

2. 内容物

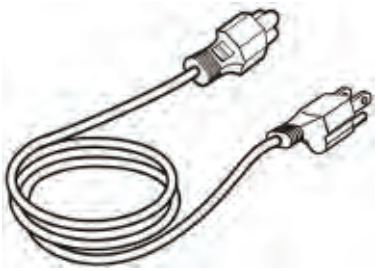
PTZカメラ



リモコン

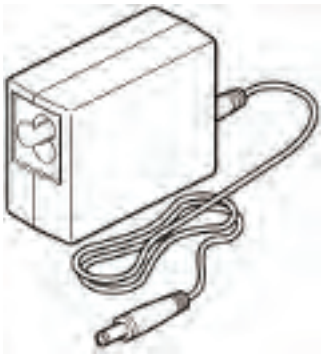


AC電源コード

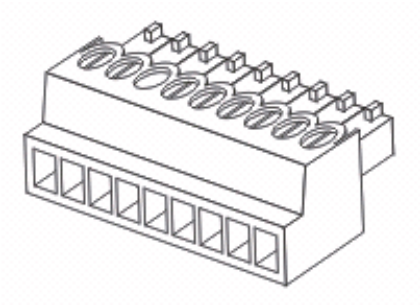


外観は国/地域によって
異なる場合があります

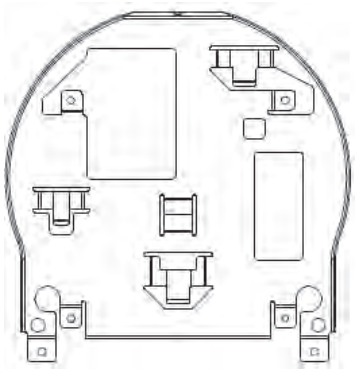
電源アダプター



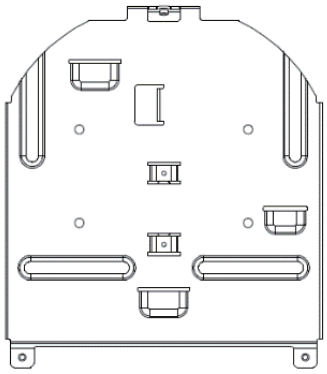
RS-422コネクタ



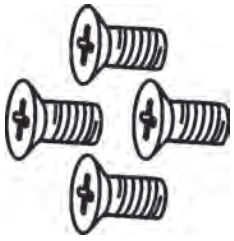
金属板A



金属板B



M3ネジ

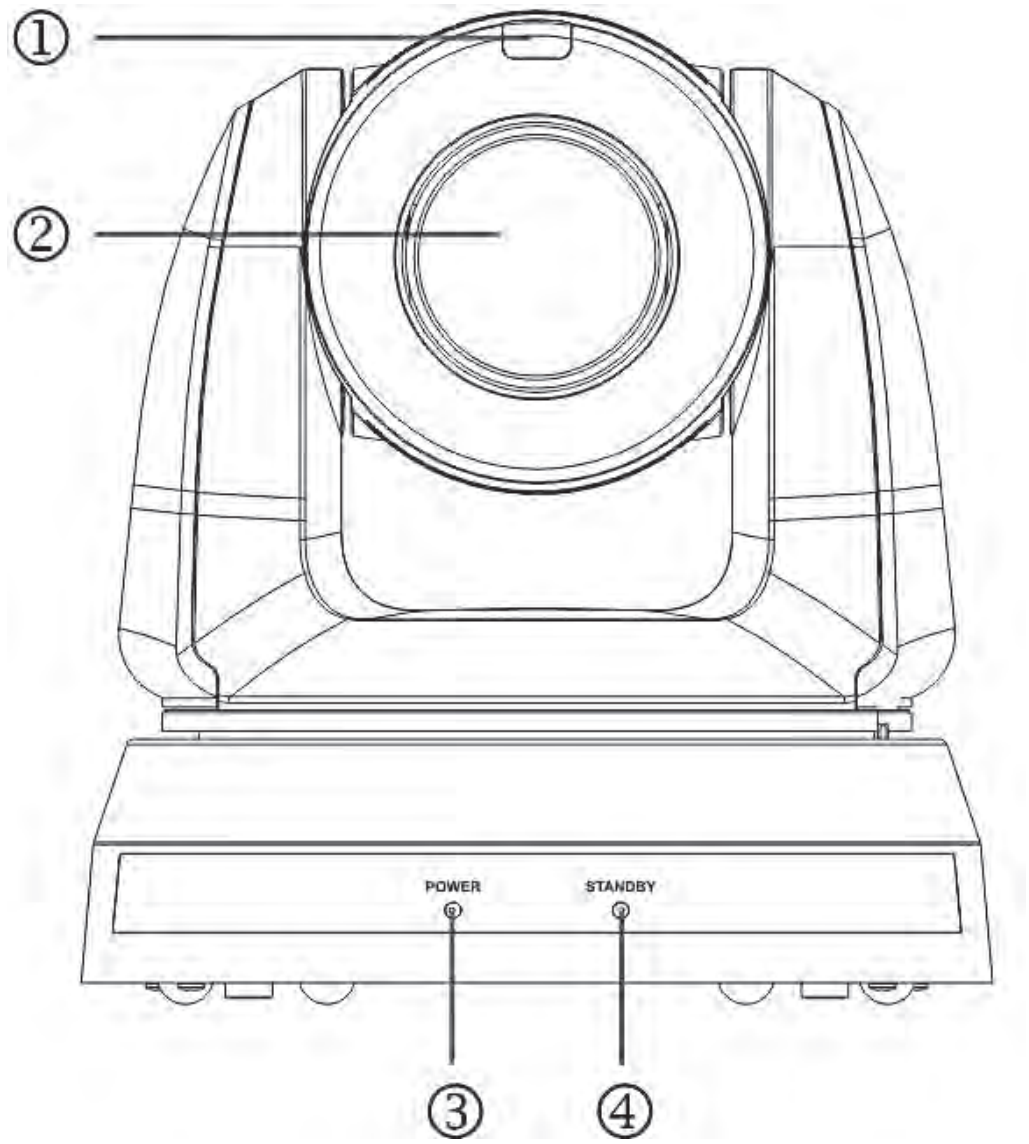


シルバー x8
ブラック x2

3. 機能の紹介

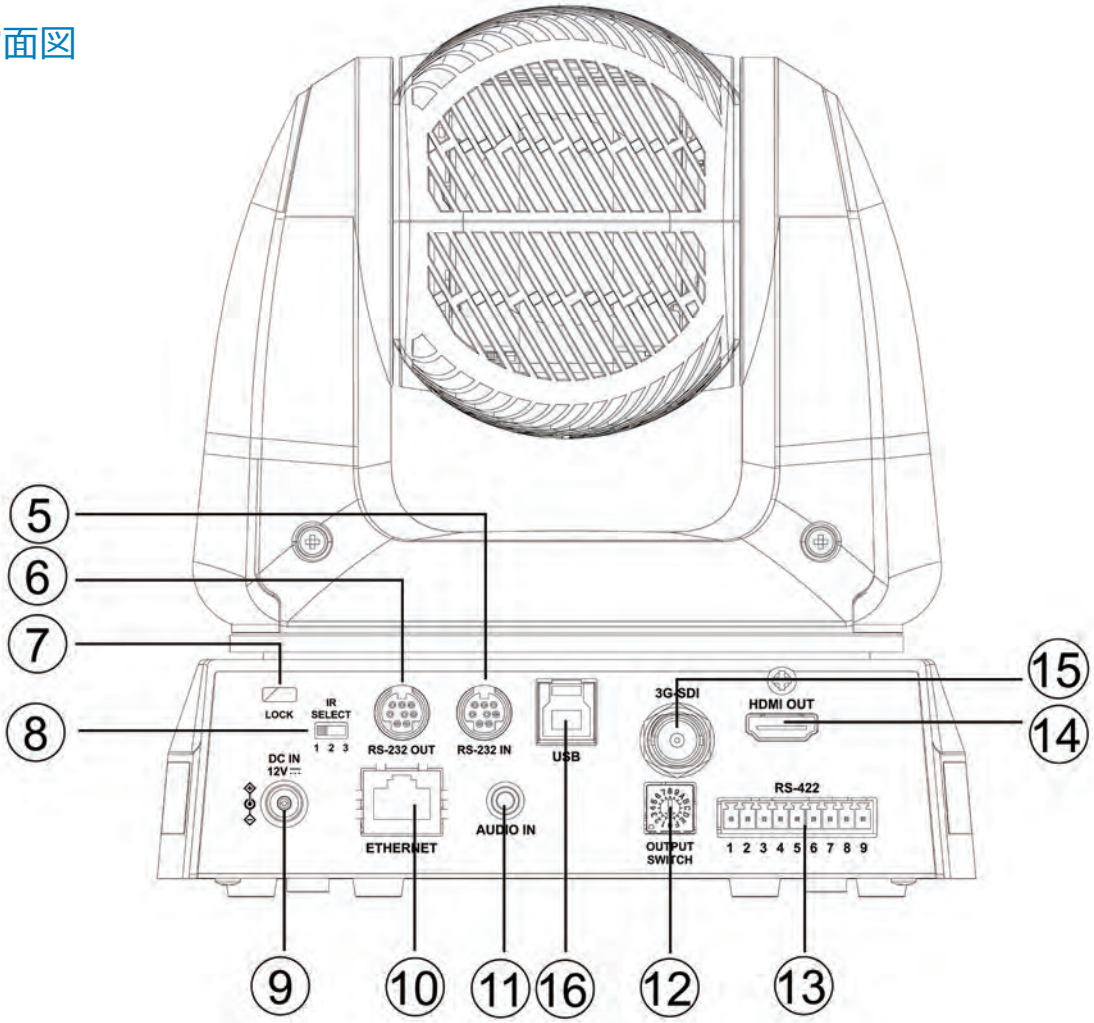
3.1 I/O機能の紹介

3.1.1 正面図

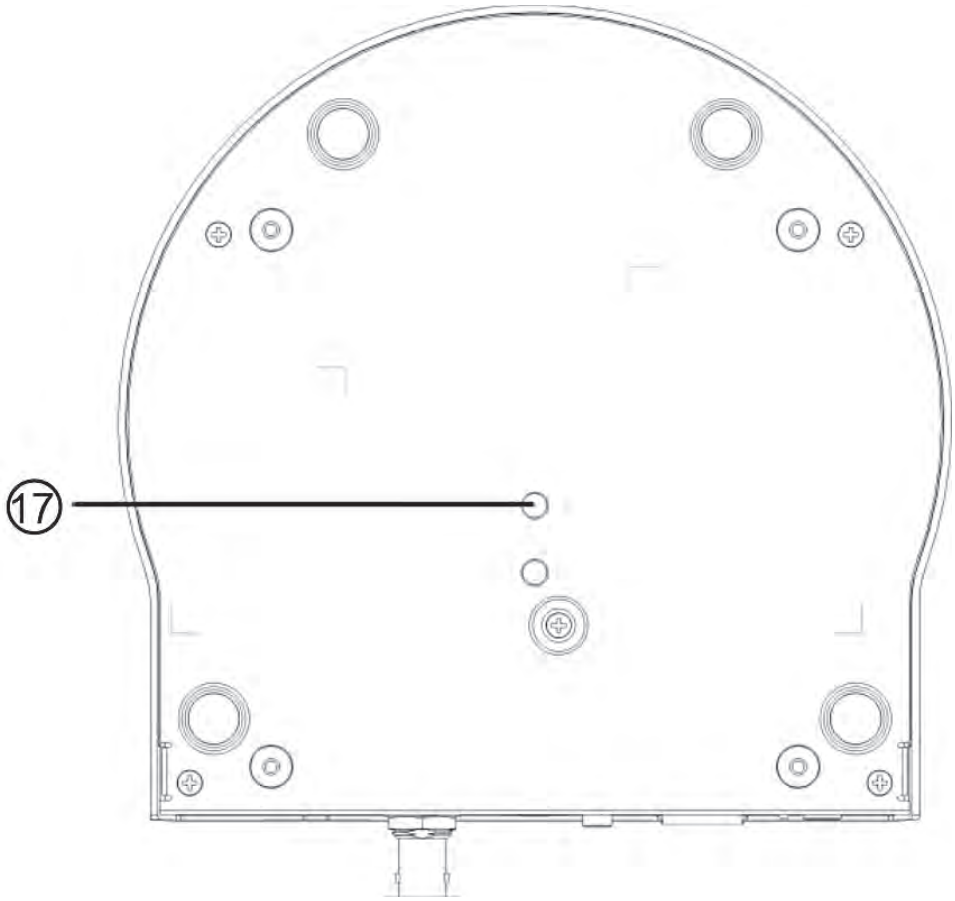


NO.	アイテム	機能の説明
1.	タリーランプ	カメラのタリーライトの状態を表示します
2.	カメラレンズ	30倍HDカメラレンズ
3.	電源LEDインジケータ	カメラの状態を表示します
4.	スタンバイLEDインジケータ	カメラの状態を表示します

3.1.2 背面図



NO.	アイテム	機能の説明
1.	RS-232入力	RS-232入力ポート、最大7台のカメラをシリアル接続可能
2.	RS-232出力	RS-232出力ポート、最大7台のカメラをシリアル接続可能
3.	ロック穴	安全ロックのロック穴
4.	IRセレクト	リモコンID設定は、リモコンのカメラ選択に対応した後にのみ制御されます。
5.	DC 12 V電源ポート	DC電源接続ポート
6.	イーサネットポート	ネットワーク ケーブル ポートは、PoE+ (IEEE 802.3at) のルーターまたはハブに対応します。
7.	音声入力	ライン入力/マイク入力に対応
8.	出力スイッチ	解像度設定を調整します。デフォルトは1080p/59.94です。
9.	RS-422ポート	RS-422接続ポート、最大7台のカメラをシリアル接続可能
10.	HDMI出力	HDMI出力（音声出力対応）
11.	3G-SDI出力	3G-SDI出力（オーディオ出力対応） **<備考>** 音声出力は48KHzのみ、解像度は最大1080p 59.94/50に対応しています。
12.	USB 3.0ポート	パソコンのUSBポートに接続し、ビデオソフトウェア経由でカメラ画像を出力します。 **<備考>** 最大 H.264 2160 29.97p/MJPEG 1080 29.97p に対応



No.	アイテム	機能の説明
17.	三脚ロック穴	カメラは（仕様）1/4インチ - 20 UNC 三脚に取り付けられています

3.2 LEDインジケータの説明

ステイタス	電源	スタンバイ
起動中(初期化)	グリーンライト	オレンジライト
使用中	グリーンライト	インジケーターなし
スタンバイモード	インジケーターなし	オレンジライト

3.3 タリーインジケーターライトの機能説明

タリーインジケーターライト機能は、RS-232 コマンドを通じて有効にすることができます。

RS-232 コマンド セット ドキュメントを参照してください。

4. 設置手順

4.1 設置前の準備

カメラの設置と接続には特別な技術が必要です。ご自身で設置される場合は、必要な手順に従い、機器をしっかりと固定し、事故のないよう安全に十分ご注意ください。

4.1.1 設置環境の安全性を確保する。

事故を防ぐため、不安定な天井や落下の危険がある場所には設置しないでください。

4.1.2 箱の中の付属品が揃っているかどうかを確認してください。

不足品がある場合はサプライヤーに連絡し、箱の中の付属品はそのままの状態で保管してください。

4.1.3 事前にカメラを設置する適切な場所を選択してください。

以下の要件に従って設置場所を決定してください

4.1.3.1 キャプチャするオブジェクトの位置を確認します。

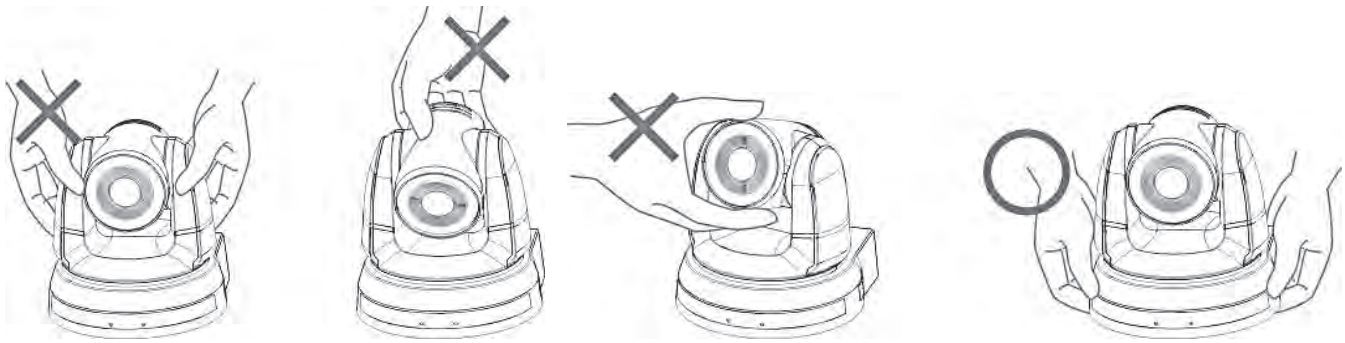
4.1.3.2 カメラが他の光源から適切な距離に設定されているかどうかを確認します。

4.2 設置手順

4.2.1 机の上にカメラを設置したい

4.2.1.1 設置上の注意

- 平らな机の上に機械を設置してください
- デバイスを取り扱う際は、カメラヘッドを手で掴まないでください。
- カメラヘッドを手で回さないでください。不適切な回転はカメラの故障につながる可能性があります。



4.2.1.2 設置手順

設置前にDIPスイッチを調整してください。
※DIP スイッチに関する説明については、7. DIPスイッチの設定 を参照してください。
機械の垂直および水平操作が正常に行われるように、カメラを平らな机の上に直接置いてください。

4.2.2 天井にカメラを設置したい

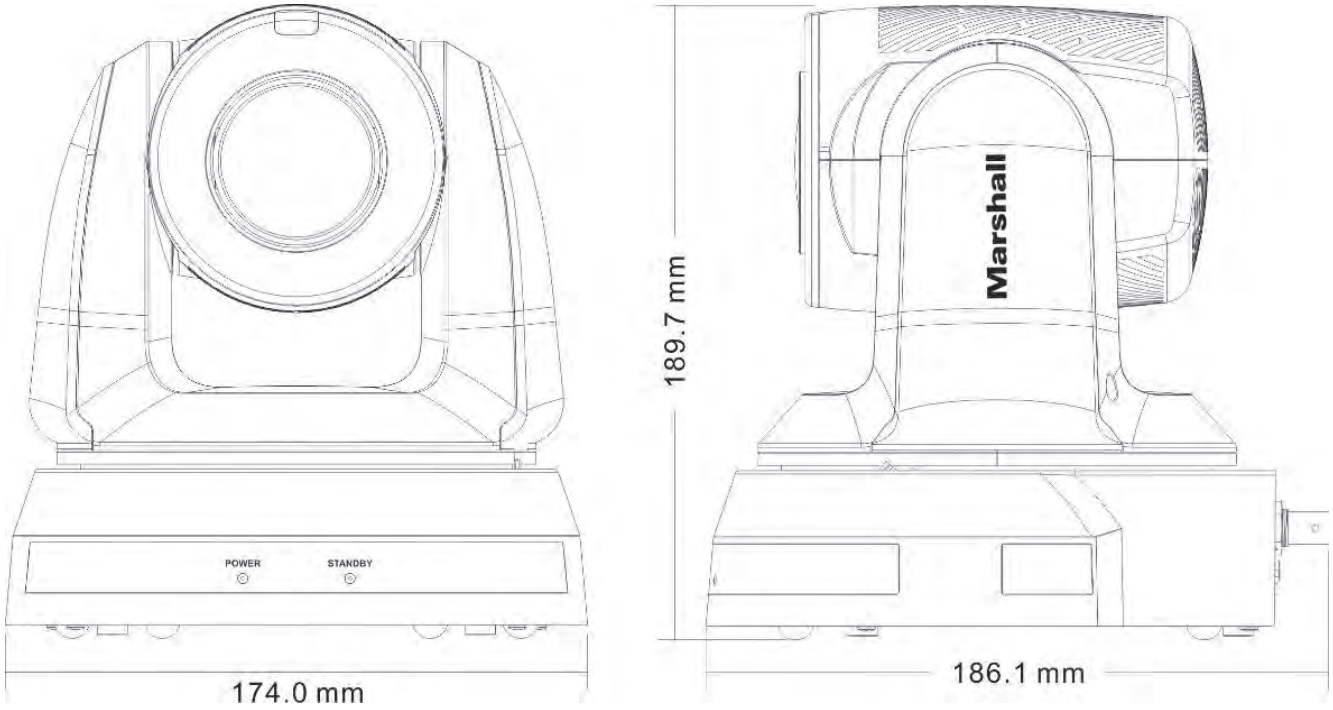
4.2.2.1 設置に必要な部品と機器の準備

1. 箱の中の付属品（金属プレートA、B、M3ネジ シルバー×8、ブラック×2）
2. 天井取り付けハンガー固定用ネジ×4
3. ドリル、ドライバー、はしご

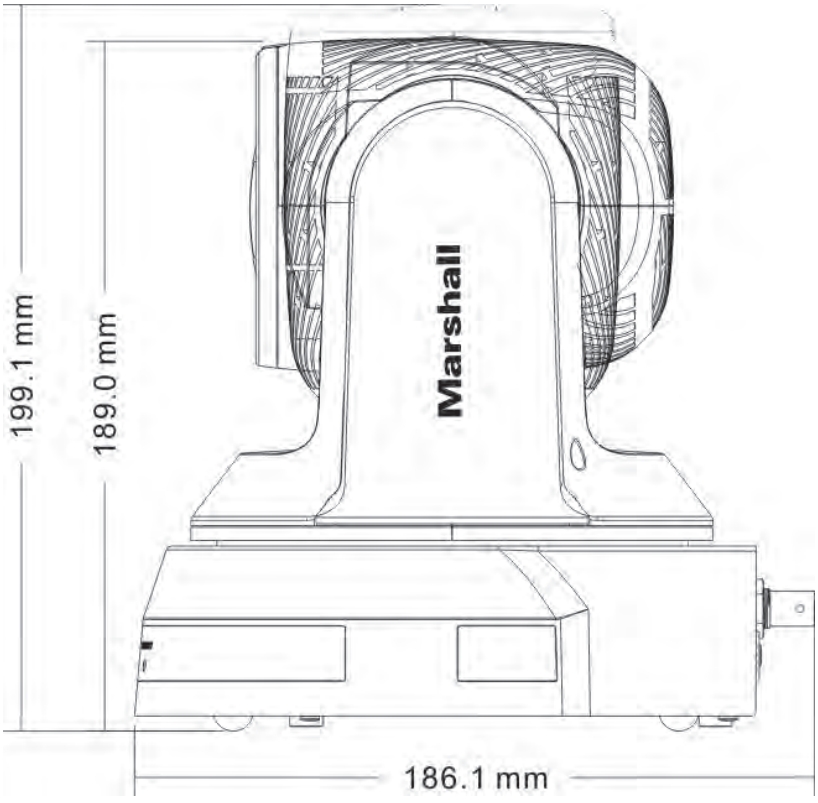


4.2.2.2 カメラのサイズ

L x W x H：174 x 187 x 190 mm　重量：2.0 Kg



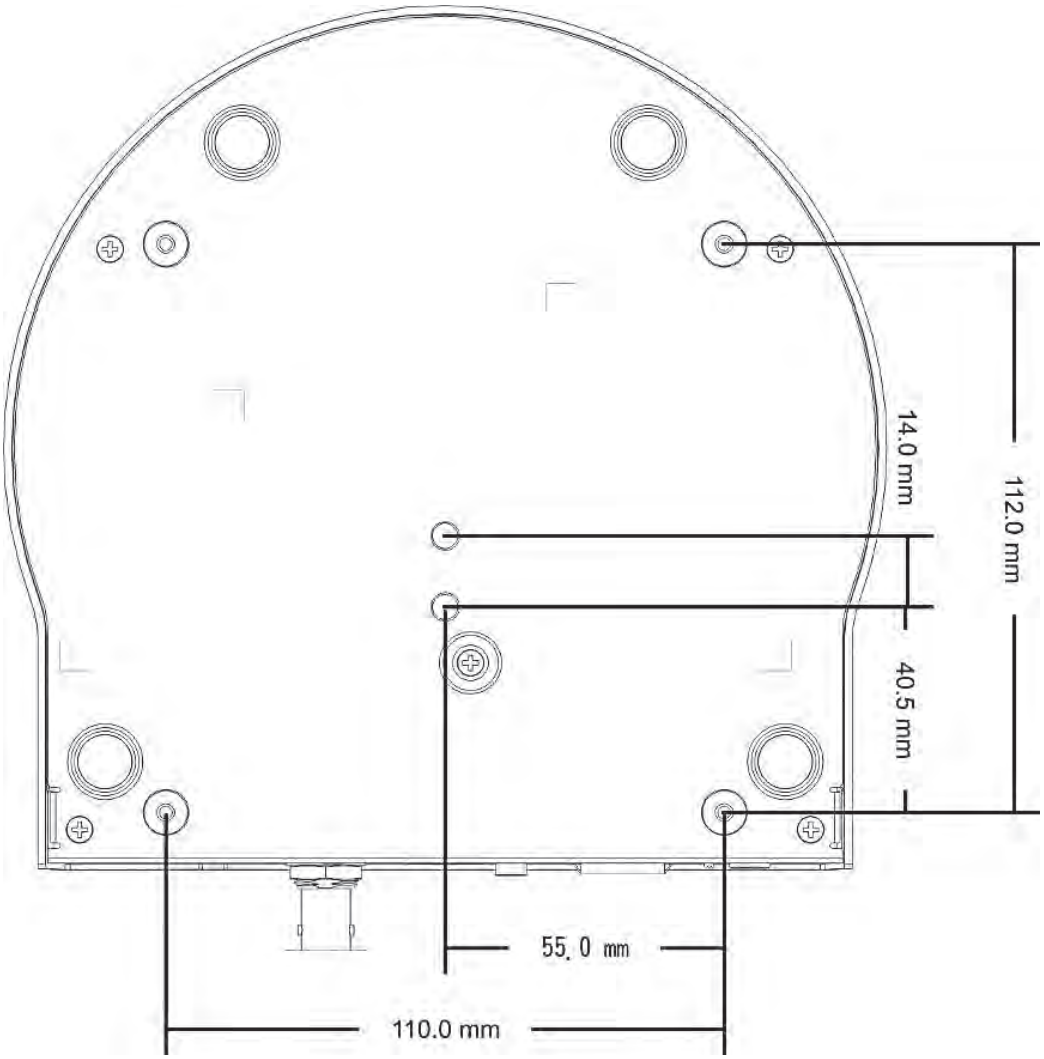
4.2.2.3 カメラの最大回転寸法



4.2.2.4 サイズ図

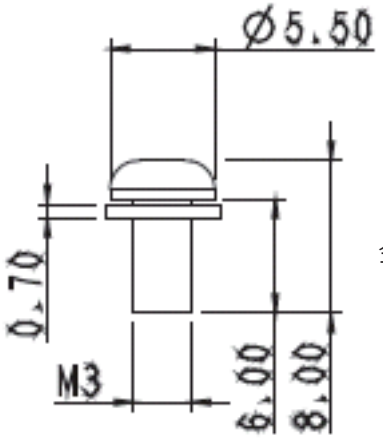
1. 機械の底部

カメラは、底面の三脚用ロック穴を使用して、1/4 インチ、-20 UNC PTZ 三脚デッキに取り付けることができます。

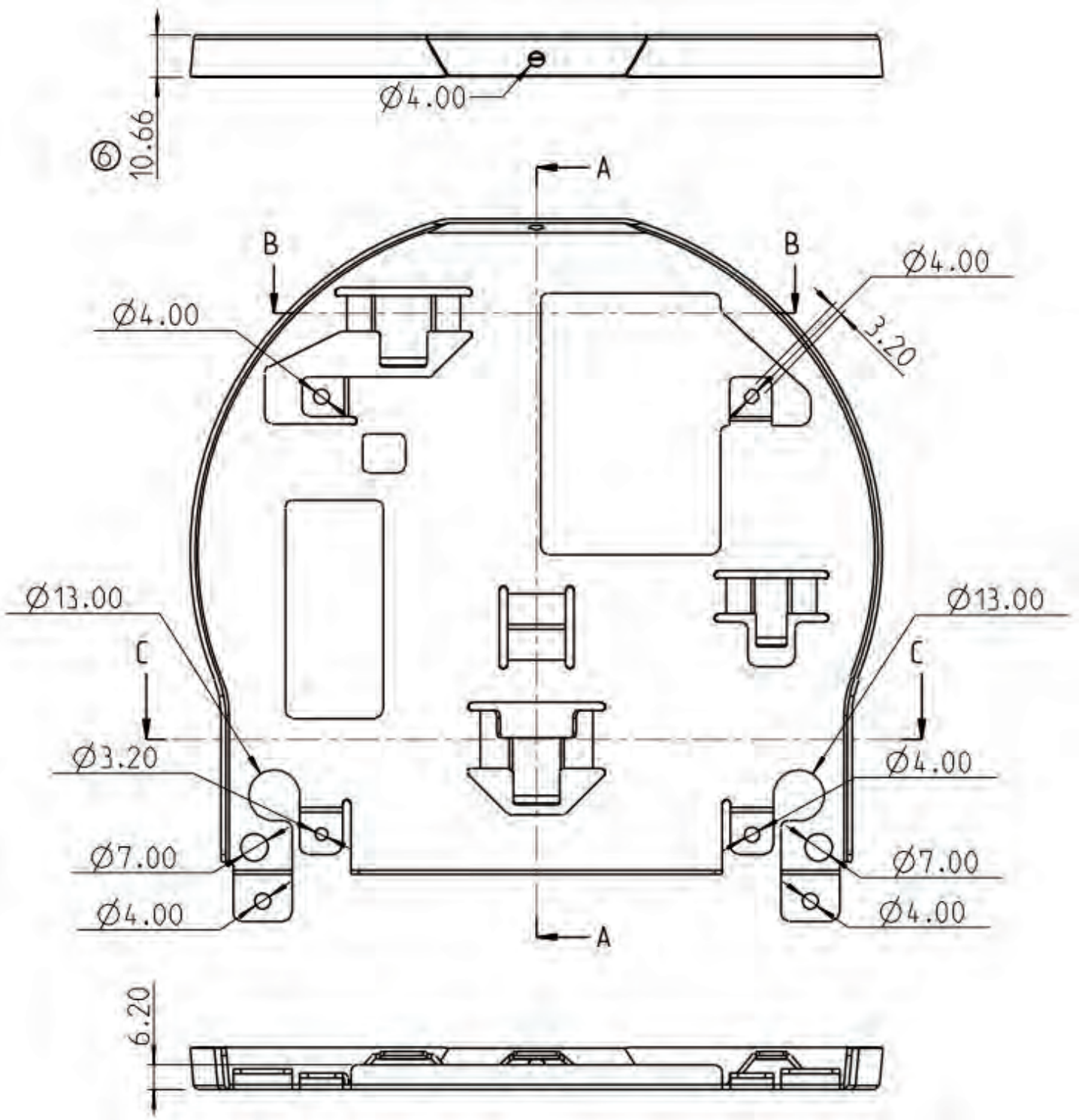


2. 金属板サイズ図

- 金属板A - 機械側

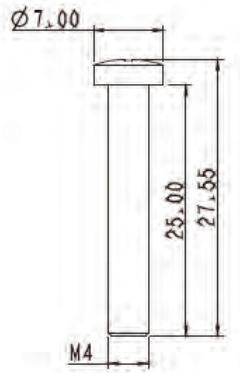


金属プレートA - 固定ネジ

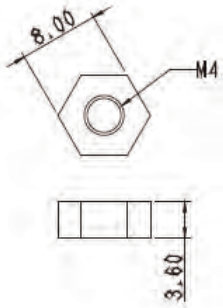

Ø4.00
⑥ 10.66
A
B
B
Ø4.00
Ø4.00
3.20
Ø13.00
C
Ø3.20
Ø7.00
Ø4.00
Ø13.00
C
Ø4.00
Ø7.00
Ø4.00
A
6.20

金属板A - 機械側

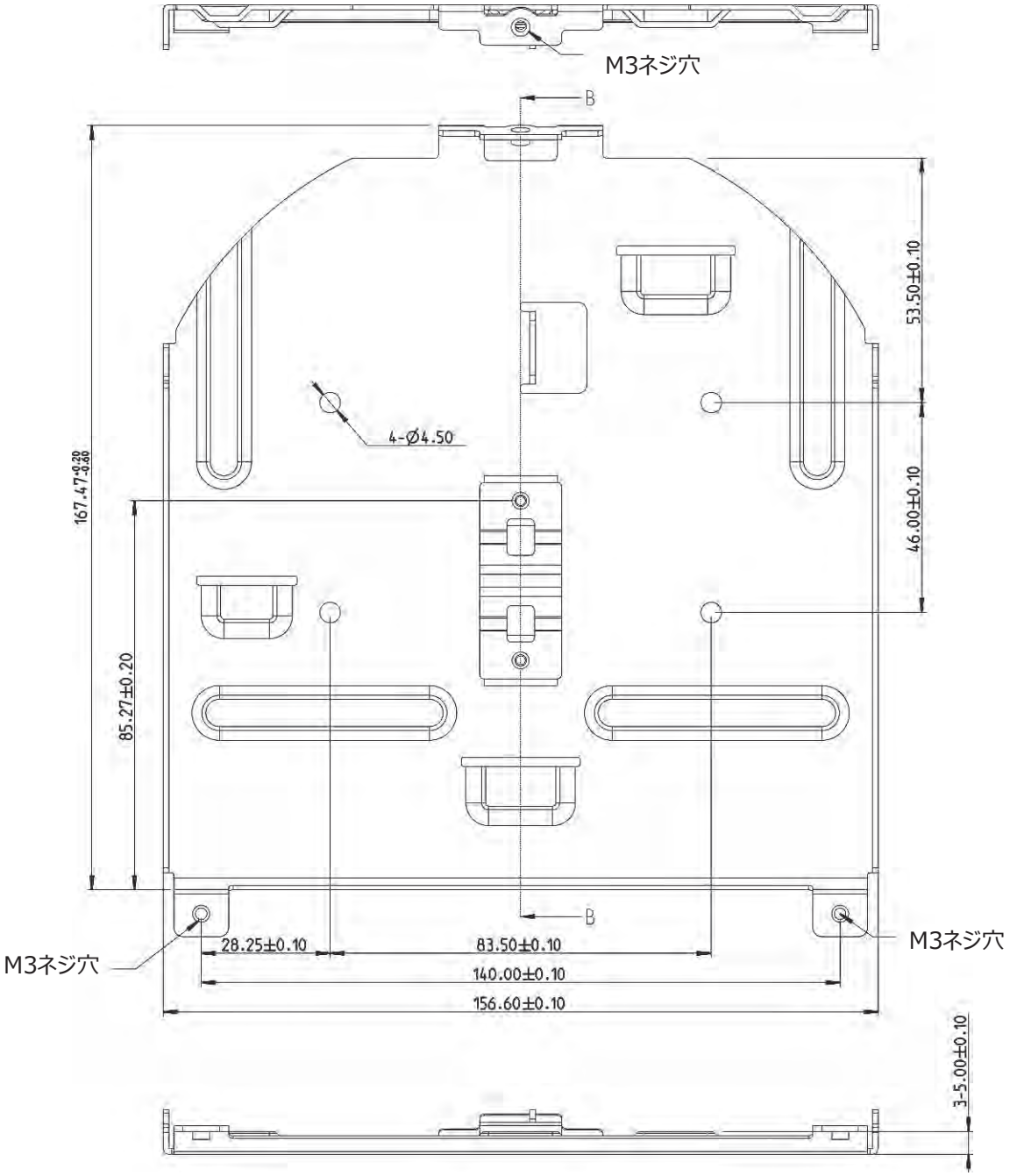
金属板B - 天井側



金属板B固定ネジ



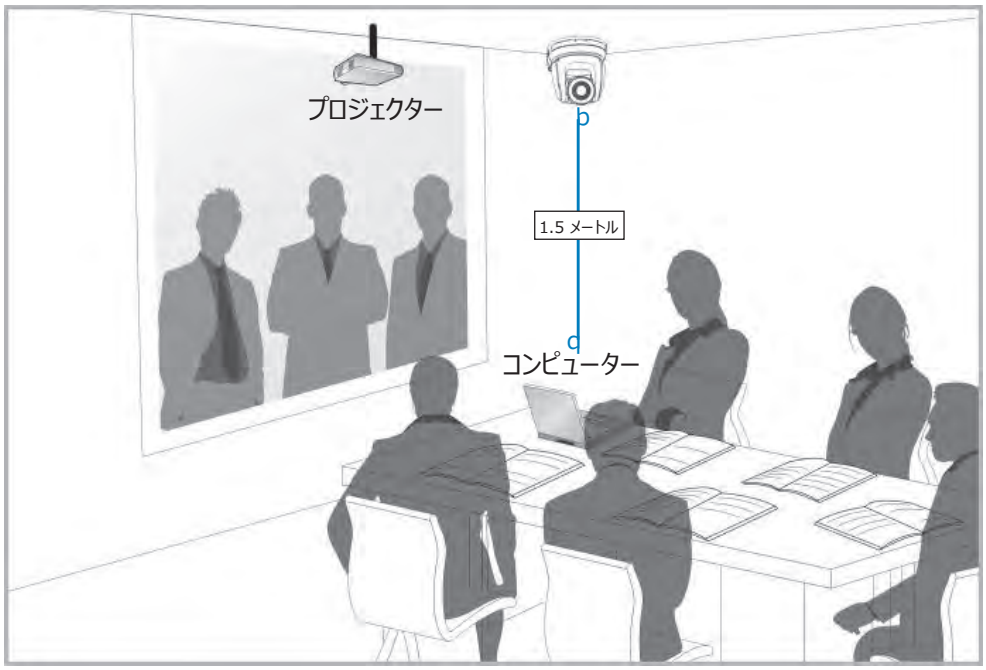
金属板Bロックボルト



金属板B - 天井側

4.2.2.5 設置上の注意

1. 設置前に、捕捉する物体に対する機械の向きを確認してください。
2. 撮影対象物から1.5メートル以上離して設置することをお勧めします。
   レンズの倍率に応じて最適な距離に調整してください。

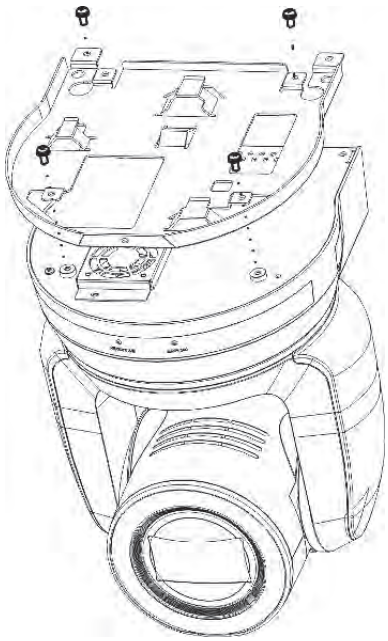


3. 本機（金属板を含む）の重量は約2.5kgです。天井に設置する場合は、
   機械の落下防止のため、UL安全認定を取得したハンガーを使用してください。
4. カメラがしっかりと設置されているか定期的に確認してください。

4.2.2.6 設置手順

1. まずDIPスイッチで解像度を調整してください

   ※DIPスイッチに関する説明については、第7章 DIPスイッチ設定 を参照してください。



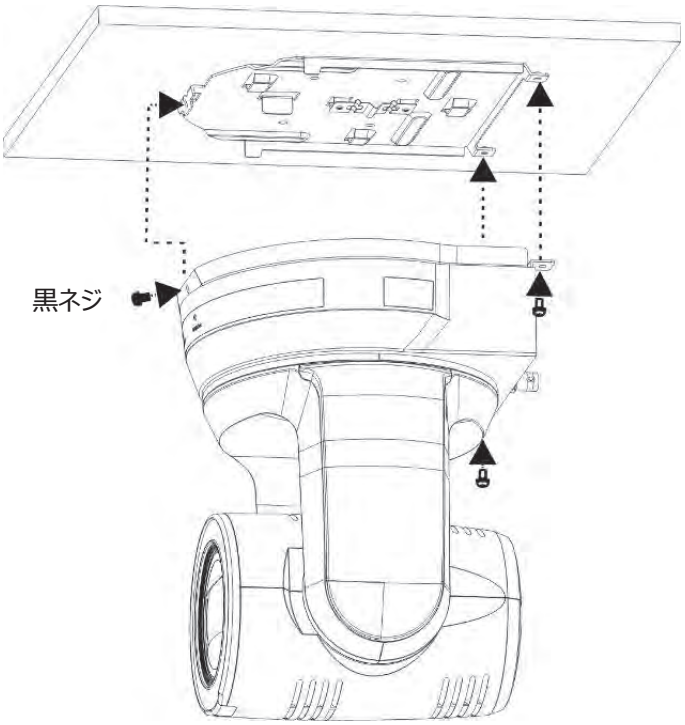
2. 金属プレートAを4本のM3銀ネジで機械ベースに固定します。
3. 天井に取り付けられたハンガーの金属プレートBをロックします。

注意：(1) UL安全認証を取得したハンガーをご使用ください。
(2) カメラの接続線用の穴を確保してください

4. 金属板Aと金属板Bを組み合わせる

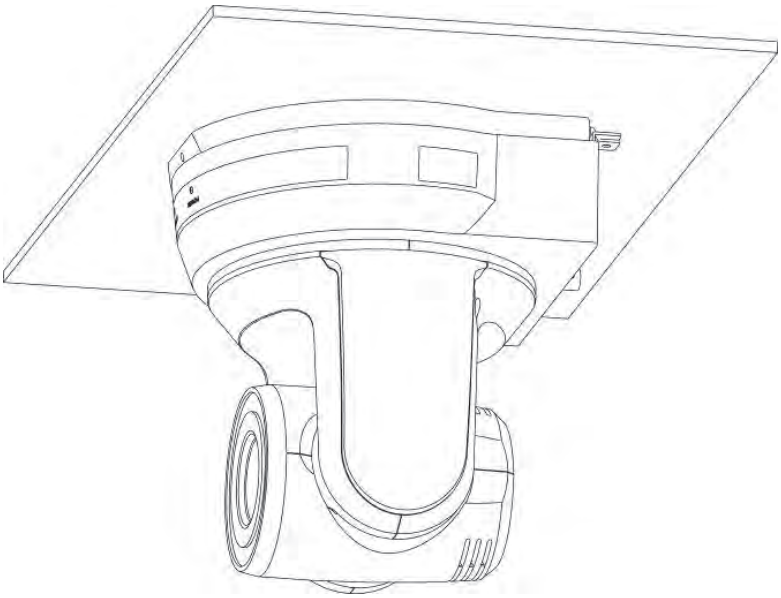
(1) 金属板Aを天井まで押し上げ、次に右に押して金属板Bをラッチします。

(2) M3銀ネジ2本とM3黒ネジ1本で固定します。



4.2.2.7 取り外し方

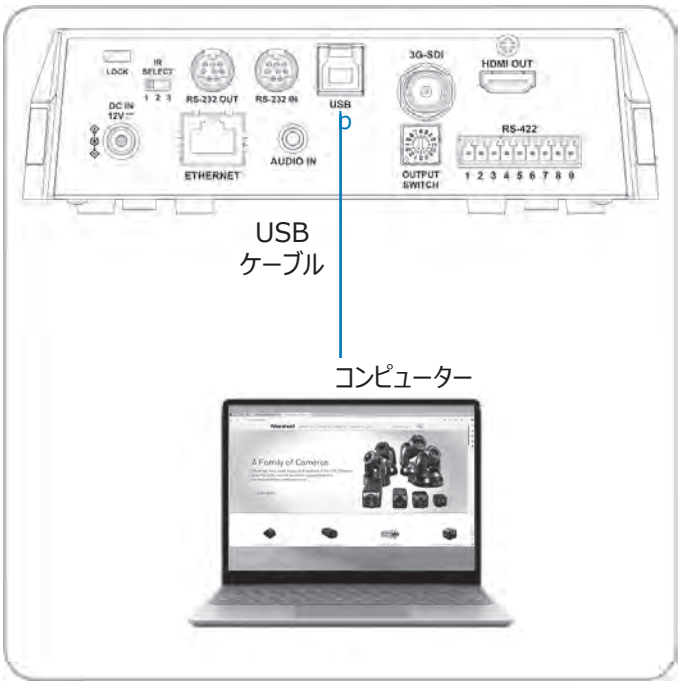
1. カメラから接続ワイヤーを取り外します
2. 天井と一緒にカメラを取り外し、金属板AとBを固定している3本のネジを緩めて左に押して機械を取り外します。
3. 次にハンガーと機械のネジを外します。



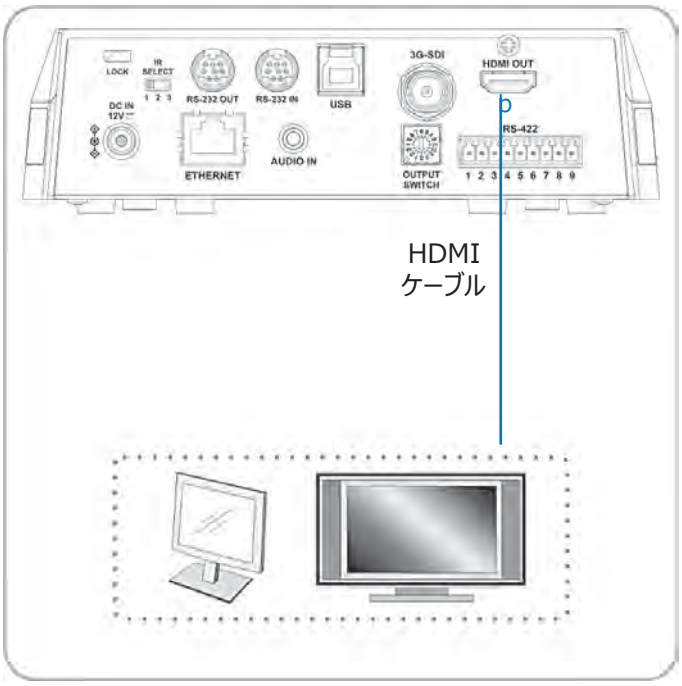
4.3 デバイスの接続

4.3.1 PCへの接続（ビデオ会議）

最大 H.264 2160 29.97p/MPEG 1080 29.97p に対応

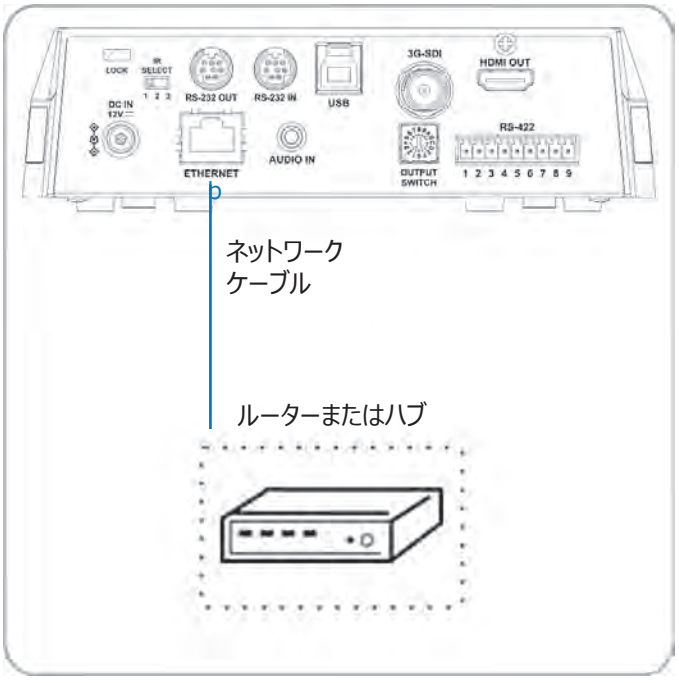


4.3.2 HDTV/コンピューターモニターへの接続（HDMI）



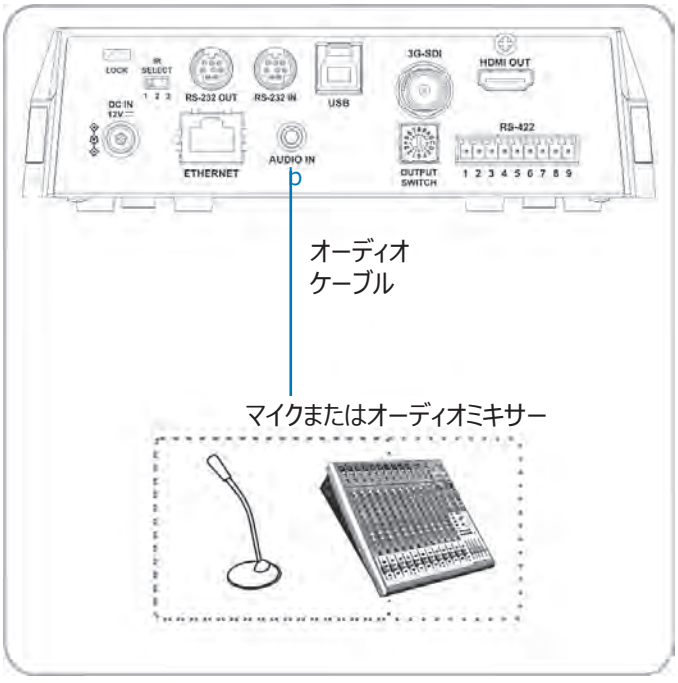
4.3.3 インターネットへの接続

Webページの接続設定と説明の詳細については、
6. ネットワーク機能設定 の説明を参照してください。



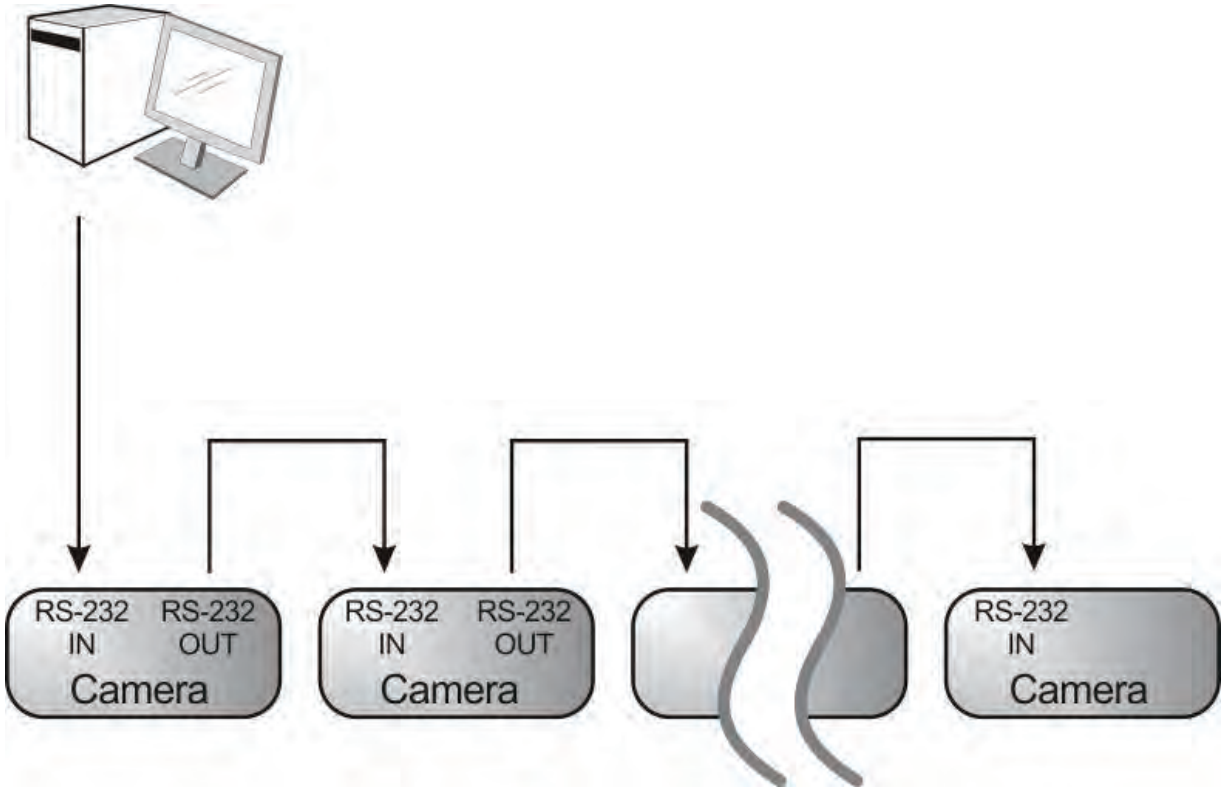
4.3.4 AUDIO IN の接続

OSDの [Audio In] を入力デバイスに合わせて設定します。



4.3.5 RS-232の接続

RS-232 入力/出力を使用すると、最大 7 台の Marshall カメラを接続できます。



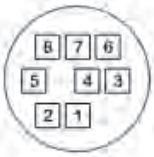
● RS-232ピン定義手順

▼RS-232 INピンの説明



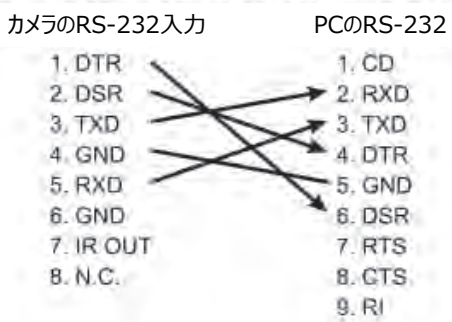
NO	Pins	信号
1	DTR	データ転送読み取り
2	DSR	データセット読み取り
3	TXD	データを送信する
4	GND	グラウンド
5	RXD	データを受信する
6	GND	グラウンド
7	IR OUT	IR接続信号
8	N.C.	接続なし

▼RS-232 OUTピンの説明

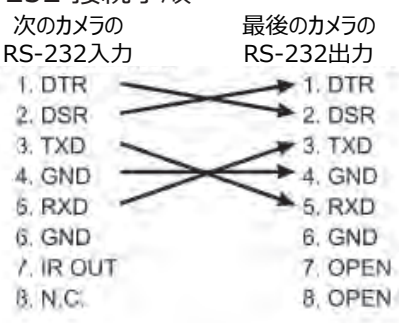


NO	Pins	信号
1	DTR	データ転送読み取り
2	DSR	データセット読み取り
3	TXD	データを送信する
4	GND	グラウンド
5	RXD	データを受信する
6	GND	グラウンド
7	OPEN	Reserved
8	OPEN	Reserved

▼RS-232 接続手順

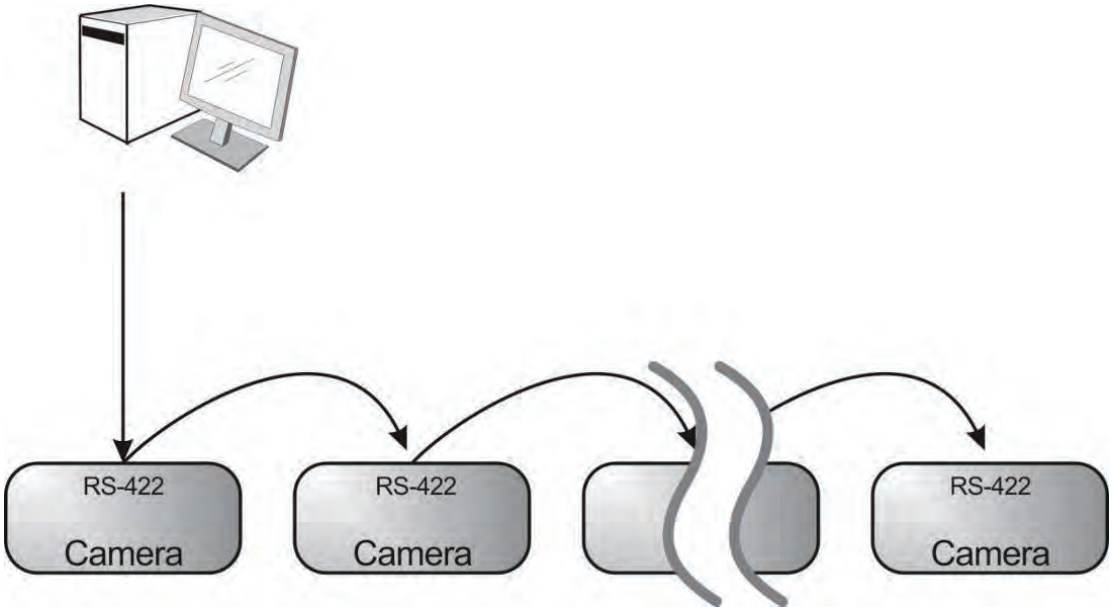


▼RS-232 接続手順



4.3.6 RS-422の接続

注意: RS-422 接続を使用している場合は、RS-232 接続を使用しないでください。



● RS-422ピン定義手順

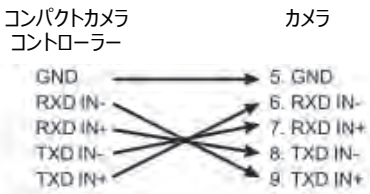
▼RS-422 INピンの説明



Pin NO.	Function
1	RXD OUT-
2	RXD OUT+
3	TXD OUT-
4	TXD OUT+
5	GND
6	RXD IN-
7	RXD IN+
8	TXD IN-
9	TXD IN+

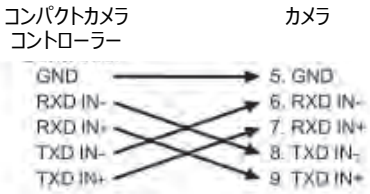
▼RS-422 接続手順

−Marshall コンパクトカメラコントローラーに適用可能



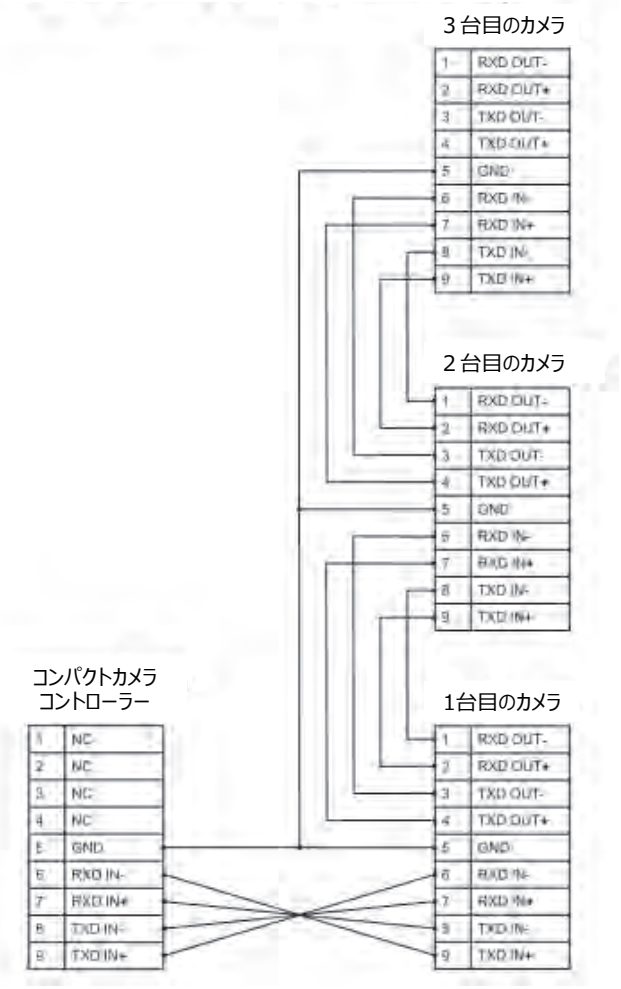
▼RS-422 接続手順

−SONY コンパクトカメラコントローラーに適用可能



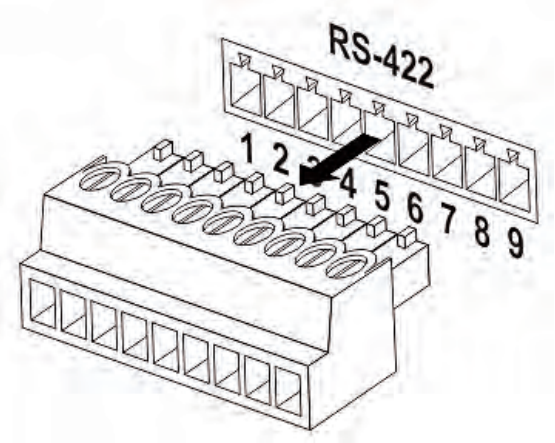
▼RS-422 シリアル接続

最大7台のカメラをデイジーチェーン接続可能

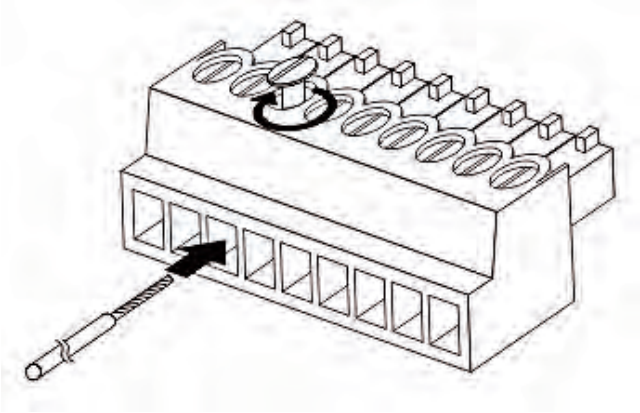


● RS-422接続手順

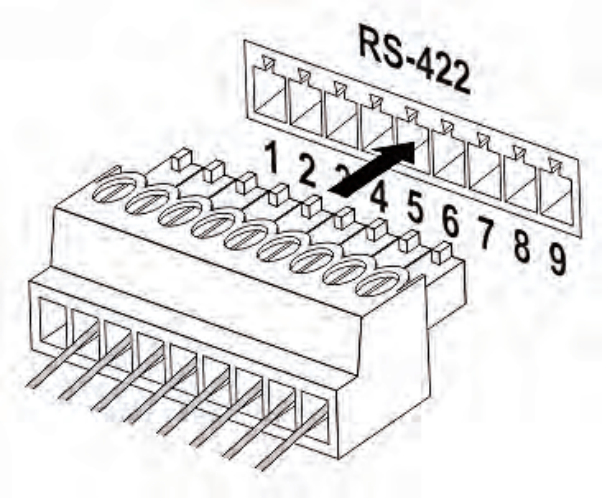
1. RS-422コネクタの両端を持ち、下の図の矢印の方向に引き抜きます。



2. 銅線（AWG 28～18）の一部を剥がし、コネクタの穴に挿入します。
   マイナスドライバーを使用して固定します。

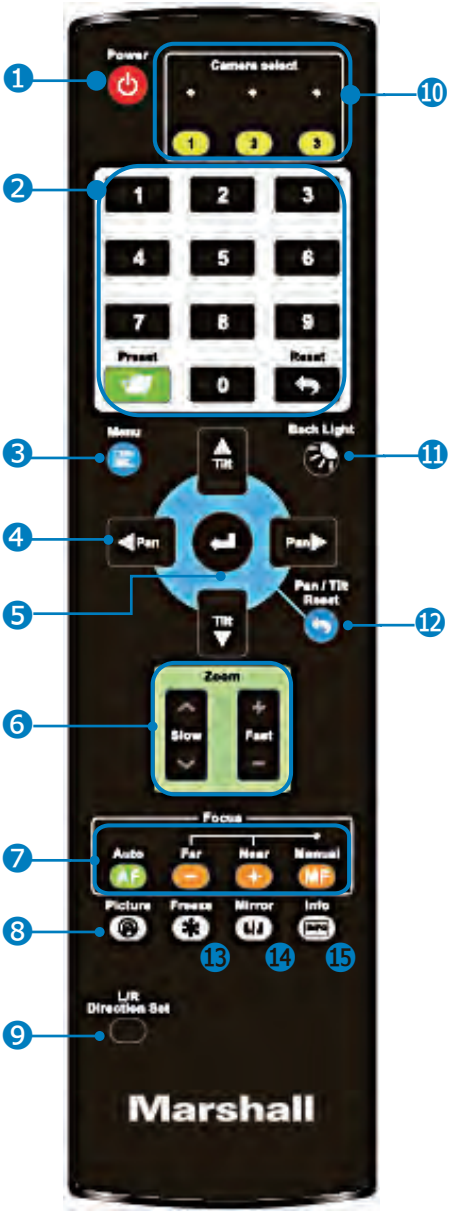


3. 有線RS-422コネクタをカメラに差し込みます。これで接続は完了です。



5. リモコンと設定メニュー

5.1 リモコンの機能



No.	アイテム	説　明
1	Power	電源スイッチ
2	Preset	• 数字キー 0～9：クリックするとプリセットが呼び出されます • プリセット：ID（0～9）を指定して現在の位置情報を保存します • リセット：ID（0～9）を指定して現在の位置情報を削除します
3	Menu	OSDメニューを表示します
4	Pan/ Tilt	レンズを動かします
5	ホーム-入力	メインページに戻る / 実行
6	Zoom	• 高速: 画像サイズを調整 • 低速: 画像サイズを微調整
7	Focus	• Auto：オートフォーカス • Manual：マニュアルフォーカスを有効にします • Far/ Near：マニュアルで焦点距離を調整します
8	Picture	画像効果の切り替え (OFF/ Neg/ B&W)
9	L/R Direction Set	L/R Direction / Normal
10	Camera select	カメラID 1～3を選択
11	Back Light	バックライト補正のオン/オフ
12	Pan/ Tilt Reset	パン/チルト設定をクリアします
13	Freeze	画面をフリーズします
14	Mirror	画像を回転します (OFF/ Mirror/ Flip/ Rotate)
15	Info	ステータス情報

5.2 設定メニュー

リモコンの [Menu] を押して設定メニューに入ります。表の **太字の下線付き** の値はデフォルト値です。

1st Level メインアイテム	2nd Level サブアイテム	3rd Level 調整値		機能の説明
Exposure	Mode	1. **Full Auto** 2. Shutter Pri 3. Iris Pri 4. Manual		露出モード設定
	Exposure Comp.	On / **Off**		AEレベル
	Exposure Comp. Level	-5~**C**~5		**Exposure Comp.** が有効になった後、値を調整できます。
	Spot Light	On / **Off**		
	Spot Light Position	X(0~6)Y(0~4)		**Spotlight** がアクティブになった後、値を調整できます
	Shutter Pri	60/30 Mode	50/25 Mode	**Exposure mode** が **Shutter Pri** に設定されている場合、調整可能です
		1/10000~**C**~1/1		
	Iris Pri	F1.6~**C**~F18/ Off		**Exposure mode** が **Iris Pri** に設定されている場合、調整可能です
	Manual Gain	**0**~45dB		**Exposure mode** が **Manual** に設定されている場合、調整可能です
	Manual Speed	60/30 Mode	50/25 Mode	シャッターを手動で設定します
		1/10000~**C**~1/1		
	Manual Iris	F1.6~**C**~F18/ Off		絞りを手動で設定します
	Gain Limit	9~45 dB		電子ゲインの最大値
	Iris Limit	**F3.2**~F11		絞りの上限値
	WDR	**Off**/ 1/ 2/ 3		
	Smart AE	On / **Off**		“Auto Focus Smart AF” がオンの場合に利用可能です

1st Level メインアイテム	2nd Level サブアイテム	3rd Level 調整値	機能の説明
White Balance	Mode	1. **Auto** 2. Indoor 3. Outdoor 4. One Push WB 5. ATW 6. Manual 7. Sodium Lamp 8. 3000K 9. 4300K 10. 5000K 11. 6500K 12. 8000K	色温度モードを選択します 1. 4000k ~ 7000k 2. 3200k 3. 5800k 4. 1700k ~ 10000k 5. 1700k ~ 10000k 6. Custom 7. 2800k
	One Push Trigger	**ENTER**	ワンプッシュトリガー
	Manual Red	0~**C**~128	ホワイトバランスモードが **Manual** に設定されている場合に調整可能
	Manual Blue	0~**C**~128	ホワイトバランスモードが **Manual** に設定されている場合に調整可能
Picture	Picture effect	**Off**/ Neg/ B & W	
	Sharpness	0~**C**~14	
	2D NR	Off/ **1**/ 2/ 3	
	3D NR	Off/ Low/ **Typ**/ Max	
	Image Mode	**Default**/ Custom	ユーザーは希望する Image mode をカスタマイズできます
	Image Mode Load	**ENTER**	**Image mode** が **Custom** に設定されている場合、調整可能です。選択後、対応する **Image mode** パラメータが読み込まれ、**Custom** に適用されます。
	Brightness	0~**C**~15	**Image mode** が **Custom** に設定されている場合、調整可能です
	Hue	0~**C**~15	**Image mode** が **Custom** に設定されている場合、調整可能です
	Saturation	0~**C**~15	**Image mode** が **Custom** に設定されている場合、調整可能です
	Gamma	0~**C**~3	**Image mode** が **Custom** に設定されている場合、調整可能です
Pan Tilt	Pan/Tilt Limit	On / **Off**	角度制限設定のオン/オフ

1st Level メインアイテム	2nd Level サブアイテム	3rd Level 調整値	機能の説明
Zoom	Pan Right Limit	0~**170**	右の角度を制限します
	Pan Left Limit	**-170**~0	左の角度を制限します
	Tilt UP Limit	0~**90**	上向きの角度を制限します
	Tilt Down Limit	**-30**~0	下向きの角度を制限します
	Pan Flip	On / **Off**	逆パンコマンドを有効にします
	Tilt Flip	On / **Off**	逆チルトコマンドを有効にします
	Preset Speed	5/ 25/ 50/ 80/ 120/ **160**/ 200/ 300 **deg/sec**	Preset 実行時のクレードルヘッドの回転速度を設定します
	Preset Mode	Normal/ PTZ Only	Normal：プリセットを呼び出し、Pan/Tilt/Zoom/Focus と画像パラメータ設定を実行 PTZ Only：プリセットを呼び出し、Pan/Tilt/Zoom/Focus のみを実行
	PTZ Speed Comp	On / **Off**	Pan/Tilt の移動速度をズーム位置に応じて設定します
	D-Zoom Limit	**x1**~x12	デジタルズームの制限を設定します
	PTZ Motion Sync	On / **Off**	電源投入後、**Preset** を操作してPTZモーション同期を実現します。 **<注記>** この機能はデフォルトの速度設定を参照しますが、PTZ動作範囲の違いにより速度が自動的に調整される場合があります。
D-Effect	Mirror	**Off**/ Mirror/ Flip/ Mirror + Flip	画像の回転モードを設定します
Auto Focus	AF Sensitivity	Low/ **Middle**/ High	AFのトリガー速度については、速度が速いほどAFが速くトリガーされます。
	AF Frame	Center Area / All Area / **Auto**	AF frame 設定では、中央エリアを AF frame に設定した場合は画面中央にピントが合います。全画面を AF frame に設定した場合は画面全体を基準にピントが合います。

1st Level メインアイテム	2nd Level サブアイテム	3rd Level 調整値	機能の説明
	Zoom tracking	Manual / **Curve Tracing** / Zoom Tracking	Manual Focus (MF) モードで設定できます。 レンズのズーム中のフォーカスモードです。
	PTZ Assist	On / **Off**	PTZが変化した場合、オートフォーカスが有効になっているか確認してください（“Manual” で設定できます）。 **<注>** PTZ Assist が有効で PTZ 制御が動作している場合、フォーカスはトリガーされます。シーンが変化した場合は、フォーカスはトリガーされません。
	Preset AF	**On** / Off	Preset 後に Auto Focus を実行するかどうかを設定します
	SMART AF	On / **Off**	この機能をオンにすると、AF は主に顔に焦点を合わせます
Ethernet	**DHCP**	On / **Off**	左右の矢印キーを使用して DHCP 設定を有効/無効にし、**[ENTER]** を押して設定を適用します。
	IP Address	**192.168.100.100**	**[ENTER]** を押して変更モードにします。上下キーを使用して変更する項目を選択し、左右キーまたは数字キーを使用して値を変更します。
	Subnet mask	**255.255.255.0**	**[ENTER]** を押して変更モードにします。上下キーを使用して変更する項目を選択し、左右キーまたは数字キーを使用して値を変更します。
	Gateway	**192.168.100.254**	**[ENTER]** を押して変更モードにします。上下キーを使用して変更する項目を選択し、左右キーまたは数字キーを使用して値を変更します。
Audio	**Audio In**	**Line In**/Mic In	音声入力を設定します
	Audio Enable	On / **Off**	音声出力のオン/オフ
	Audio Volume	0~**C**~10	オーディオ音量設定

1st Level メインアイテム	2nd Level サブアイテム	3rd Level 調整値	機能の説明
	Audio Delay	On / **Off**	音声が映像と同期していない場合は、この機能を有効にして音声の遅延時間を設定できます。 **<注>** NDI|HX機能の設定がオフの場合に対応します。
	Audio Delay Time(ms)	-1~-500ms	オーディオ遅延時間を設定します **<注>** NDI|HX機能の設定がオフの場合に対応します。
	Encode Type	**AAC**/ G.711	オーディオエンコードタイプを設定します **<注>** NDI|HX機能の設定がオフの場合に対応します。
	Encode Sample Rate	1.**48 KHz(AAC)** 2.44.1 KHz(AAC) 3.16 KHz(AAC) 4.16 KHz(G.711) 5.8 KHz(G.711)	エンコードタイプとサンプルレートを設定します **<注>** NDI|HX機能の設定がオフの場合に対応します。
System	**Prompt**	On / **Off**	ディスプレイ上のプロンプト情報のオン/オフ
	IR Receive	**On** / Off	
	Tally Lamp	On / **Off**	
	Tally CMMD Mode	General / **Link**	インジケーターライトをRS232コマンドにリンクさせるかどうかを設定します。 ■General（リンクなし）： インジケーターライトのスイッチとモードは別々に設定する必要があります。 ・インジケーターライトが点灯していて、デフォルトモードがオフの場合、インジケーターライトモードを設定するには追加のコマンドが必要です。 ・インジケーターライトがオフのときにインジケーターライトモードを設定しても、インジケーターライトは点灯しません。 ■Link： ・インジケーターライトがオンの場合、デフォルトモードは赤色です。 ・インジケーターライトがオフのときにインジケーターライトモードを設定すると、インジケーターライトが点灯します。
	Language	**English** / Chinese	
	Initial Position	**Last MEM** / 1st Preset	電源投入後、カメラレンズを最後に記憶した位置、または 1st Preset 位置に戻すには、カメラレンズを選択してください。 **<注記>** 1st Preset = Preset 0
	Control Device	Encoder / **Controller**	制御デバイスの設定 Controller：ジョイスティック用 Encoder：トラッキングシステム用

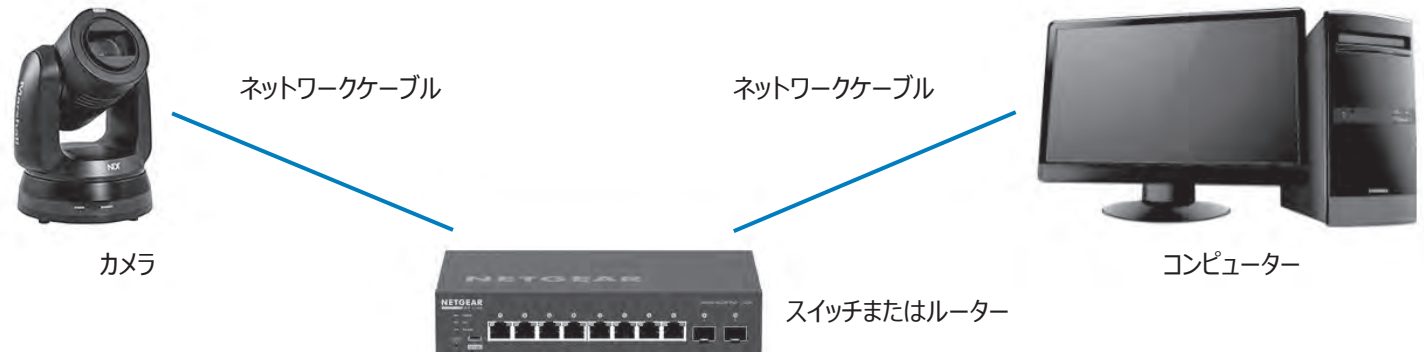
6. ネットワーク機能設定の説明

6.1 カメラをネットワークに接続する

6.1.1 インターネットへの接続

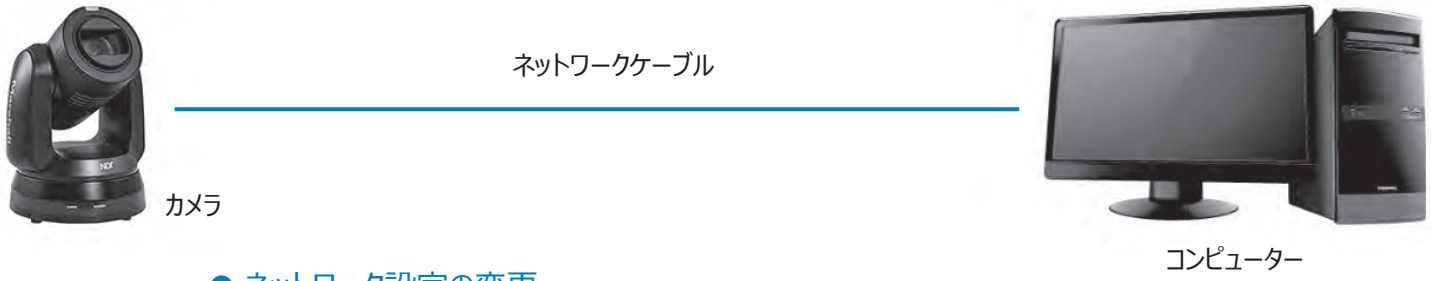
一般的な2つの接続方法を以下に示します。

1. スイッチまたはルーター経由で接続する

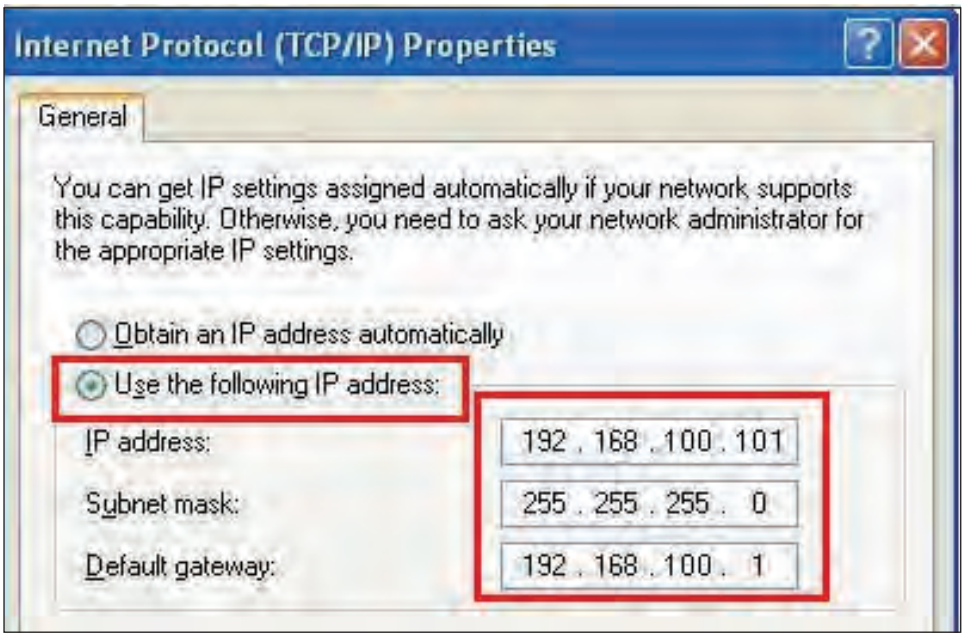


2. ネットワークケーブルで直接接続するには、コンピュータのIPアドルスをカメラと同じネットワークセグメントに変更する必要があります。

例：カメラの工場出荷時のデフォルトIPアドレスは192.168.100.100です。コンピュータのIPアドレスは、カメラと正しく接続するために、同じネットワークセグメント（例：192.168.100.101）に設定する必要があります。



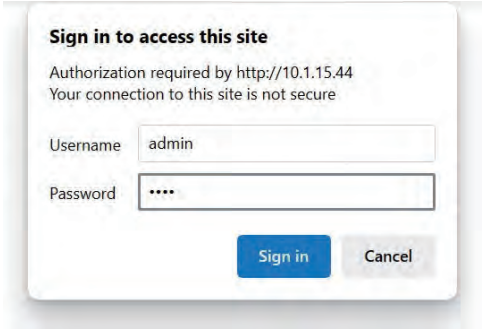
● ネットワーク設定の変更



6.1.2 ブラウザを使用して画像を表示する

- ブラウザを開き、IPアドレスバーにカメラのURLを入力します
  例：http://192.168.100.100（デフォルトのIPアドレス）

- 管理者のアカウントとパスワードを入力してください
  ※初回ログイン時は、「6.2.9 アカウント管理」を参照して、デフォルトのパスワードを変更してください。



Marshall ネットワークカメラ
- Account: admin (デフォルト)
- Password: 9999 (デフォルト)

6.1.3 RTSPプレーヤーを使用して画像を表示する

CV630-ND3/ND3W でこの機能を使用するには、NDI|HX をオフにしてください（6.2.4 Streaming-NDI を参照）。
ブラウザや VMS に加えて、VLC、Quick Time、PotPlayer などの無料ソフトウェアも RTSP 接続に使用できます。

RTSP 接続アドレスの形式は次のとおりです。

- RTSP Streaming 1 => rtsp://camera IP:8554/hevc
- RTSP Streaming 2 => rtsp://camera IP:8557/h264
- RTSP Streaming 3 => rtsp://camera IP:8556/h264

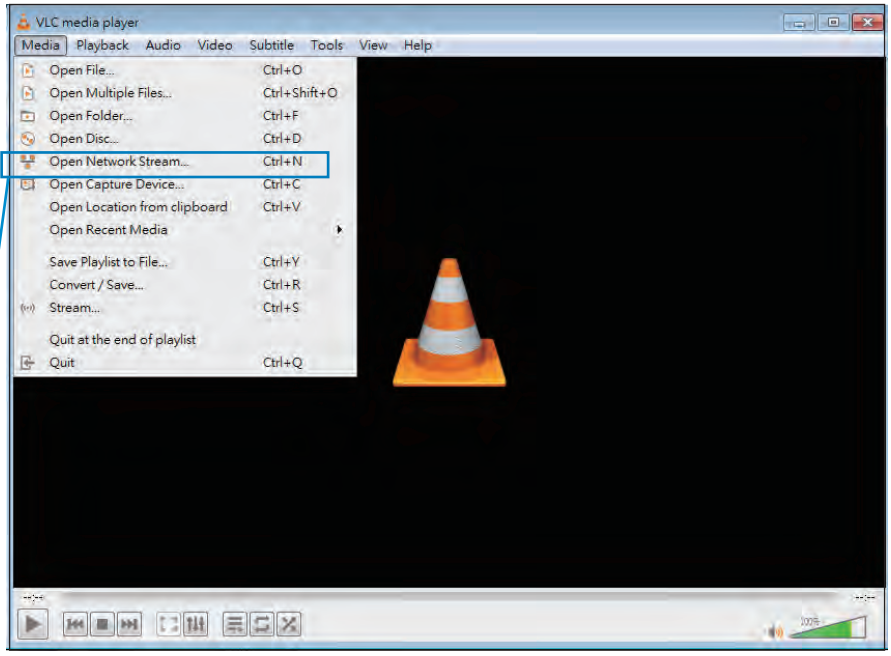
例: VLCソフトウェアを開き、[Open Network Streaming] をクリックし、URLを入力します。
rtsp://192.168.100.150:8557/h264

6.1.4 NDI Studio Monitor を使用して画像を表示する

これは CV630-ND3/ND3W にのみ適用されます。
NDI|HX がオンの場合のみ対応します。
（6.2.4 Streaming-NDI を参照してください）

NewTek 製品の操作や説明については、
以下の Webサイトをご覧ください。
https://www.newtek.com/

NDI 4 ツールをダウンロードするには、
以下の Webサイトをご覧ください。
http://new.tk/NDIHX-Driver-Win

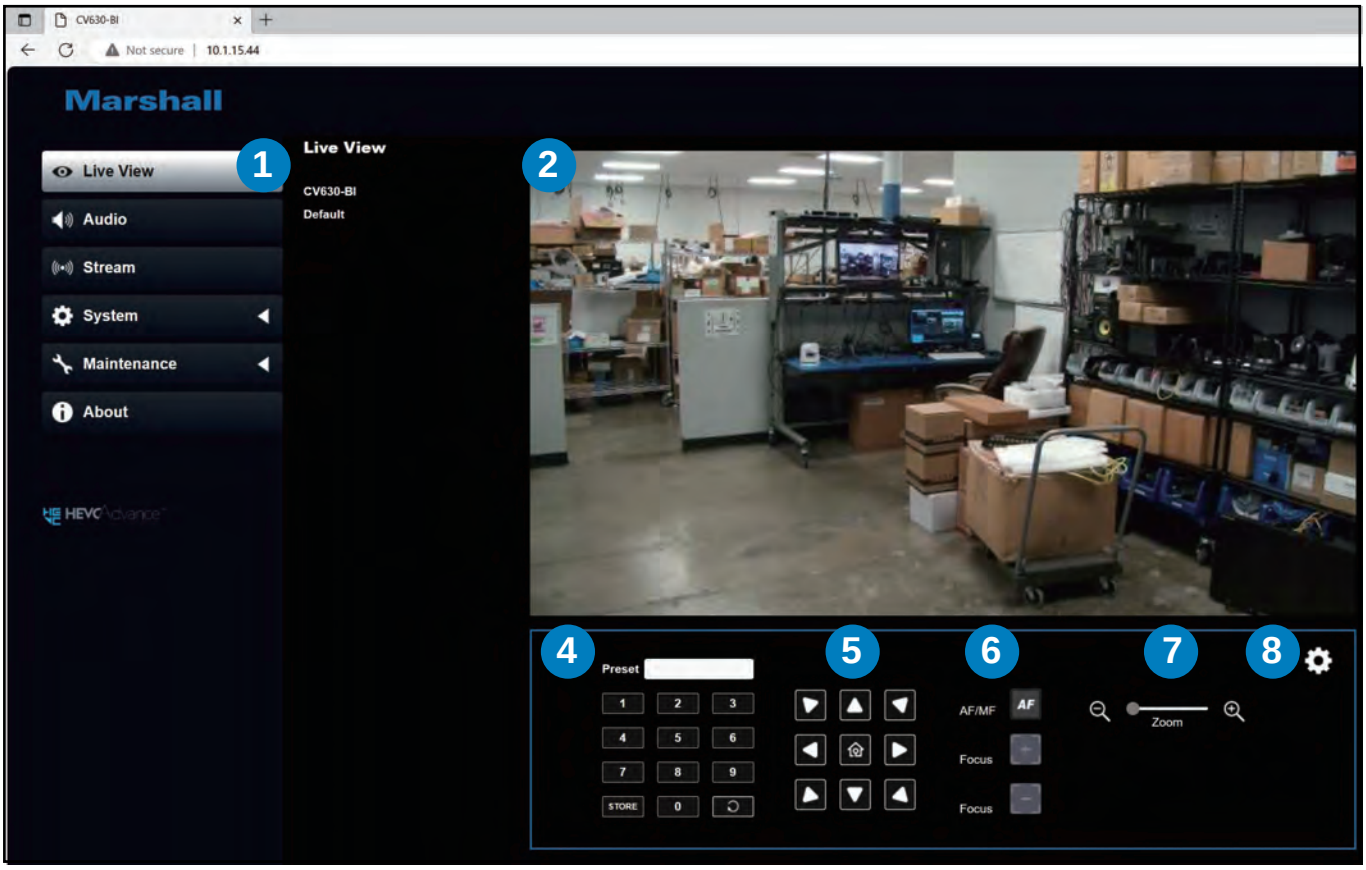


ネットワークプロトコル
ネットワーク URL を入力してください
rtsp://192.168.100.150:8557/h264

6.2 Webページの機能説明

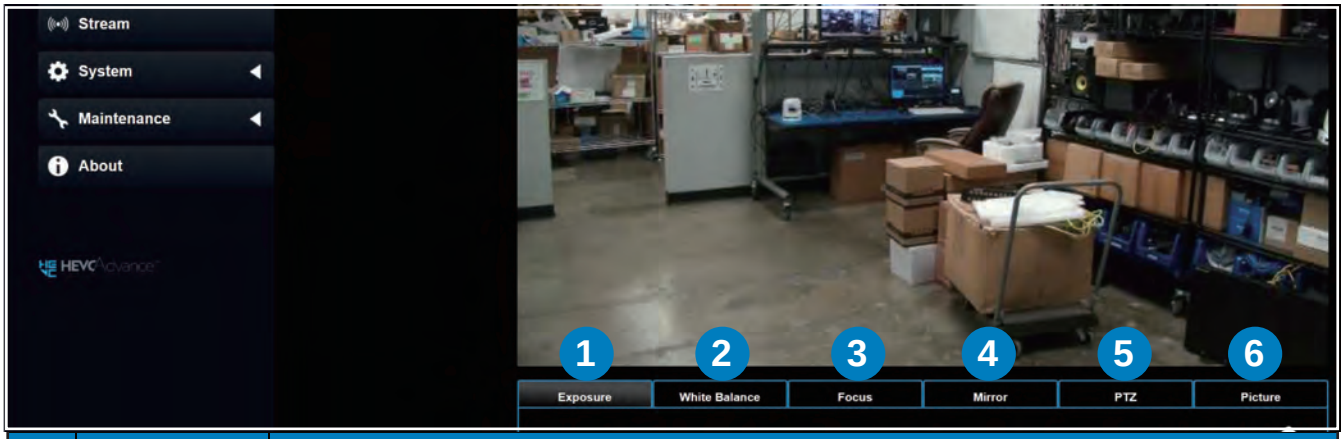
6.2.1 インターネットへの接続

一般的な 2 つの接続方法を以下に示します。

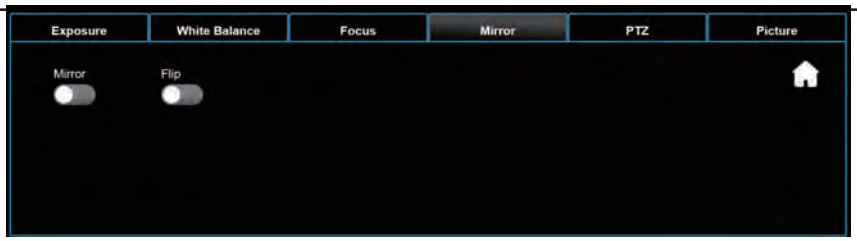
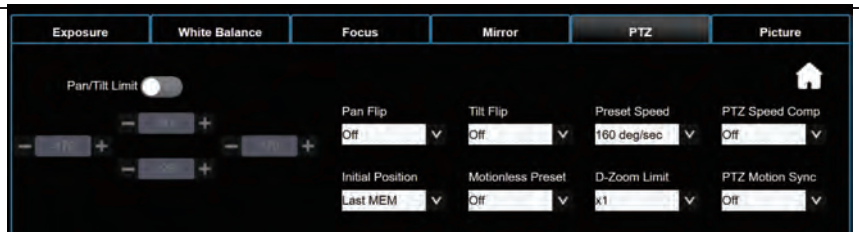
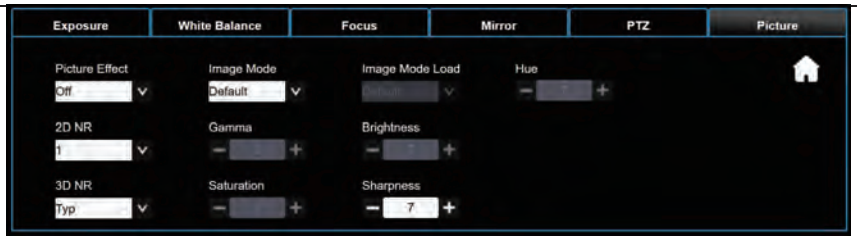


No.	項　目	機能の説明
1	Camera ID/location	カメラID/場所を表示。6.2.5 System-Device を参照してください。
2	Preview window	カメラで現在撮影されている画面を表示します
3	Enlarge the preview window	プレビュー画像の拡大/縮小
4	Preset setting	最初に番号を選択し、次に SAVE または LOAD を選択します。 PTZ ONLY　PTZ Only を有効/無効にします ■Disable（デフォルト）：プリセットを呼び出し、実行します。 Pan/ Tilt/ Zoom/ Focus + 画像パラメータ設定 ■Enable: プリセットを呼び出し、Pan/ Tilt/ Zoom/ Focus のみを実行します。
5	Pan/Tilt setting	カメラ画面の Pan/ Tilt 位置を調整します
6	AF/MF	Auto Focus/Manual Focus に切り替えます。 Manual Focus ではフォーカスを調整できます。
7	Zoom ratio	スクロールバーでズームインまたはズームアウトの比率を調整します
8	Camera Setting	関連する設定については、6.2.1.1 Camera Setting を参照してください。
9	Language	英語/繁体字中国語/簡体字中国語に対応
10	Power button	カメラの電源をオンまたはオフにする
11	Logout	Webサイトの管理者画面からログアウトします

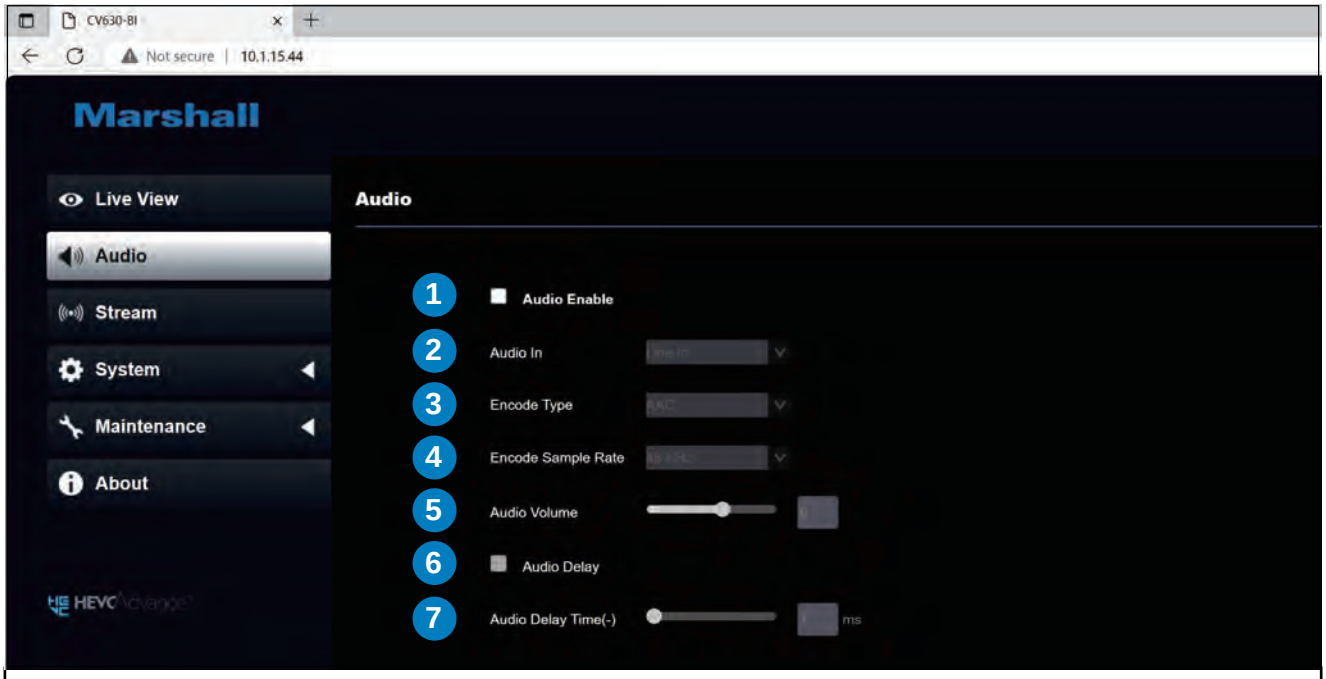
6.2.1.1 Camera Setting



No.	項　目	機能の説明
1	Exposure	■Mode：露出モードを選択します (Automatic/ Shutter Priority/ Aperture Priority/ Manual) ■Gain Level：露出モードが Manual に設定されている場合に、ゲイン制限を調整できます ■WDR：より鮮明な画像を得るために、ワイドダイナミックレンジ（WDR）のレベルを設定します ■Exposure Comp. Level：露出補正レベルを選択します ■Iris Level：露出モードが Manual または Aperture Priority に設定されている場合に、絞りの大きさを調整できます ■Shutter Speed：露出モードが Manual または Shutter Priority に設定されている場合に、シャッタースピードを調整できます
2	White Balance	■Mode：色温度モードを選択します ■One Push Trigger：ホワイトバランスモードが One Push Trigger に設定されている場合に、ワンプッシュで色温度を調整できます ■Manual Red / Blue：blue/redの色温度を手動で調整します
3	Focus	■AF Sensitivity：自動フォーカスの感度を設定します ■AF Frame：自動フォーカスの範囲を設定します ■Zoom Tracking：マニュアルフォーカスモード時にレンズのズーム操作を行う際のフォーカスモードを設定します ■PTZ Assist：PTZ操作中にオートフォーカスが有効になっているかどうかを確認します（Manual に設定することもできます） **<注>** PTZアシストが有効でPTZ制御が動作している場合、フォーカスは自動的に行われます。シーンが変化した場合は、フォーカスは自動的に行われません。 ■Preset AF：プリセット後にオートフォーカスを実行するかどうかを設定します ■Smart AF：この機能をオンにすると、AFは主に顔にフォーカスします ■One Push AF：マニュアルフォーカスモードがオンの場合、ボタンをクリックするとワンプッシュオートフォーカスが実行されます

4	Mirror	 ■Mirror：自動反転モードを設定します ■Flip：画像を回転させるモードを設定します
5	Pan/ Tilt/ Zoom	 ■Pan/Tilt limit：パン/チルト制限を設定します ■Pan/Tilt flip：パン/チルト反転を設定します ■Preset Speed：プリセット実行時のクレードルヘッドの回転速度を設定します ■PTZ Speed Comp：ズーム位置に応じてパン/チルトの移動速度を設定します ■Initial Position：電源投入後、カメラレンズが最後に記憶した位置、または 1st Preset位置に戻るように設定します **<注>** 1st Preset = Preset 0 ■Motionless Preset：この機能を有効にすると、プリセット実行時に画面がフリーズします。プリセット完了後、フリーズが解除されます。 ■D-Zoom Limit：D-Zoom Limit（x1～x12）を設定します。 ■PTZ Motion Sync：この機能を有効にすると、Preset を使用してPTZ同期を実現できます。 **<注>** この機能については、Preset speed setting を参照してください。 PTZの移動範囲の違いにより、速度が自動的に調整される場合があります
6	Picture	 ■Picture Effect：画像効果を Off/ Neg/ Black and White から選択します ■Image Mode：ユーザーが希望する画像モードをカスタマイズできます ■Image Mode Load：カスタム設定が不要な場合は、この項目を選択して画像パラメータを工場出荷時のデフォルトに戻します ■2D NR：2Dノイズリダクションの設定 ■3D NR：3Dノイズリダクションの設定 ■Gamma：ガンマレベルの調整。画像モードが Custom に設定されている場合に調整できます。 ■Brightness：画像の明るさの調整。画像モードが Custom に設定されている場合に調整できます。 ■Hue：色相の調整。画像モードが Custom に設定されている場合に調整できます。 ■Saturation：画像の彩度の調整。画像モードが Custom に設定されている場合に調整できます。 ■Sharpness：画像のシャープネスを調整します

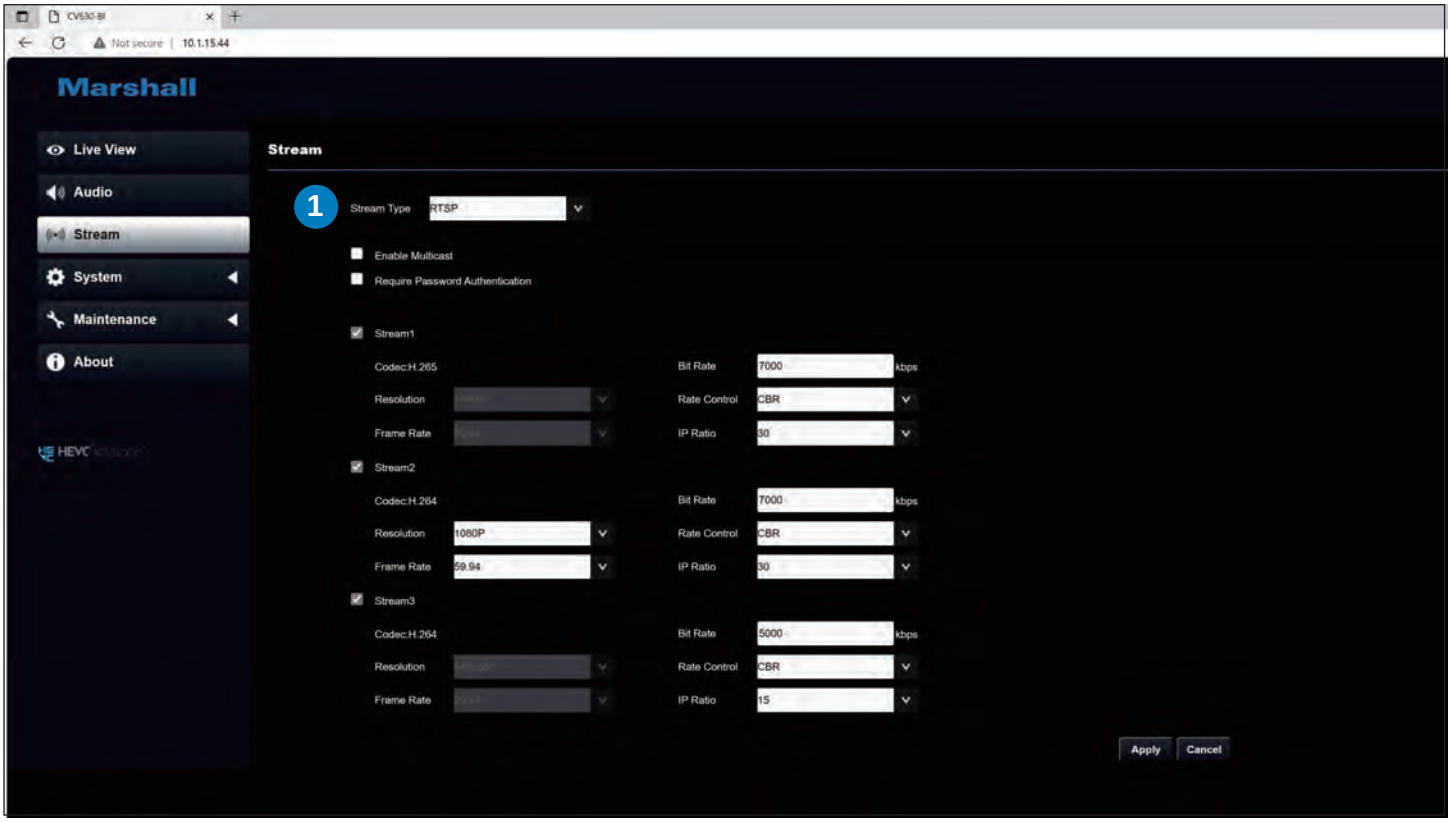
6.2.2 Audio



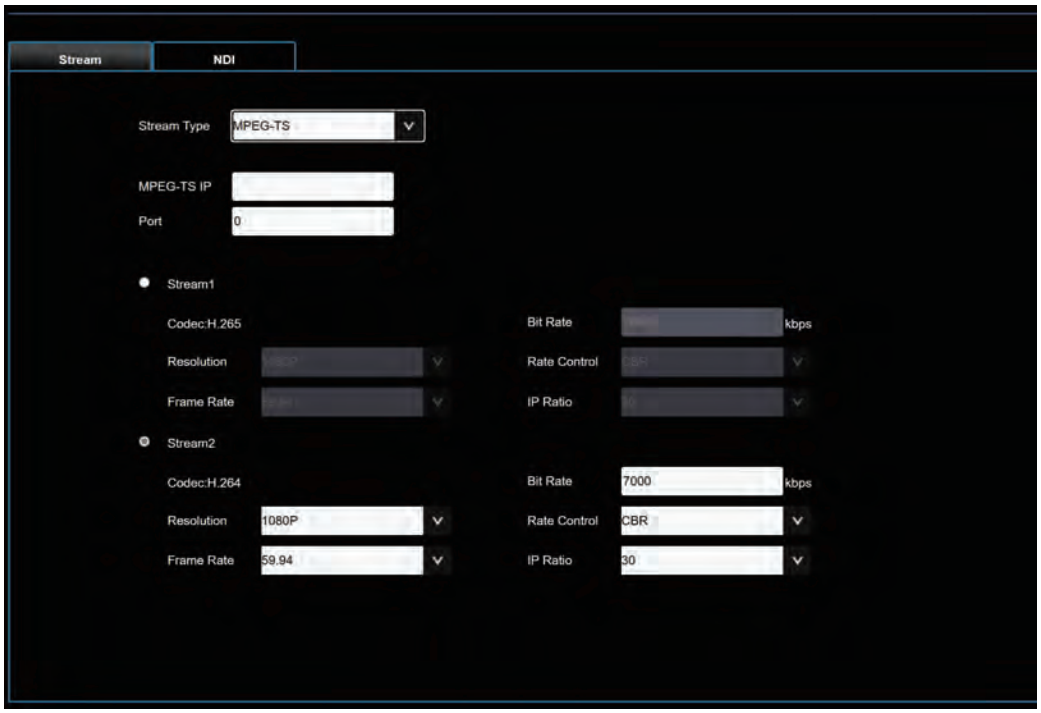
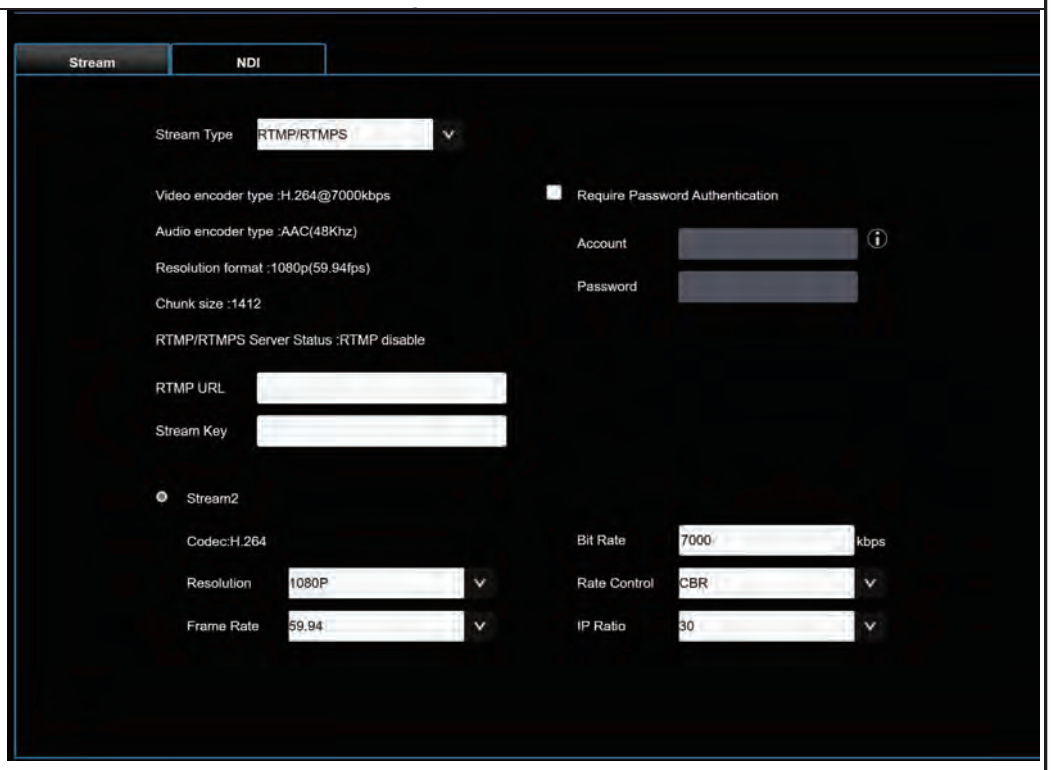
No.	項　目	機能の説明	NDI|HX OFF	NDI|HX ON
1	Audio Enable	サウンドのオン/オフ	v	v
2	Audio in	マイク入力/ライン入力の設定	v	v
3	Encode Type	AAC / G.711	v	
4	Encode Sample Rate	Encode Sample Rate を設定します ・48 KHz (AAC) ・44.1 KHz (AAC) ・16 KHz (AAC) ・16 KHz (G.711) ・8 KHz (G.711)	v	
5	Audio Volume	音量を調整します	v	v
6	Audio Delay	オーディオディレイのオン/オフ	v	
7	Audio Delay Time	オーディオ信号のディレイ時間を設定します（-1～-500ms）	v	

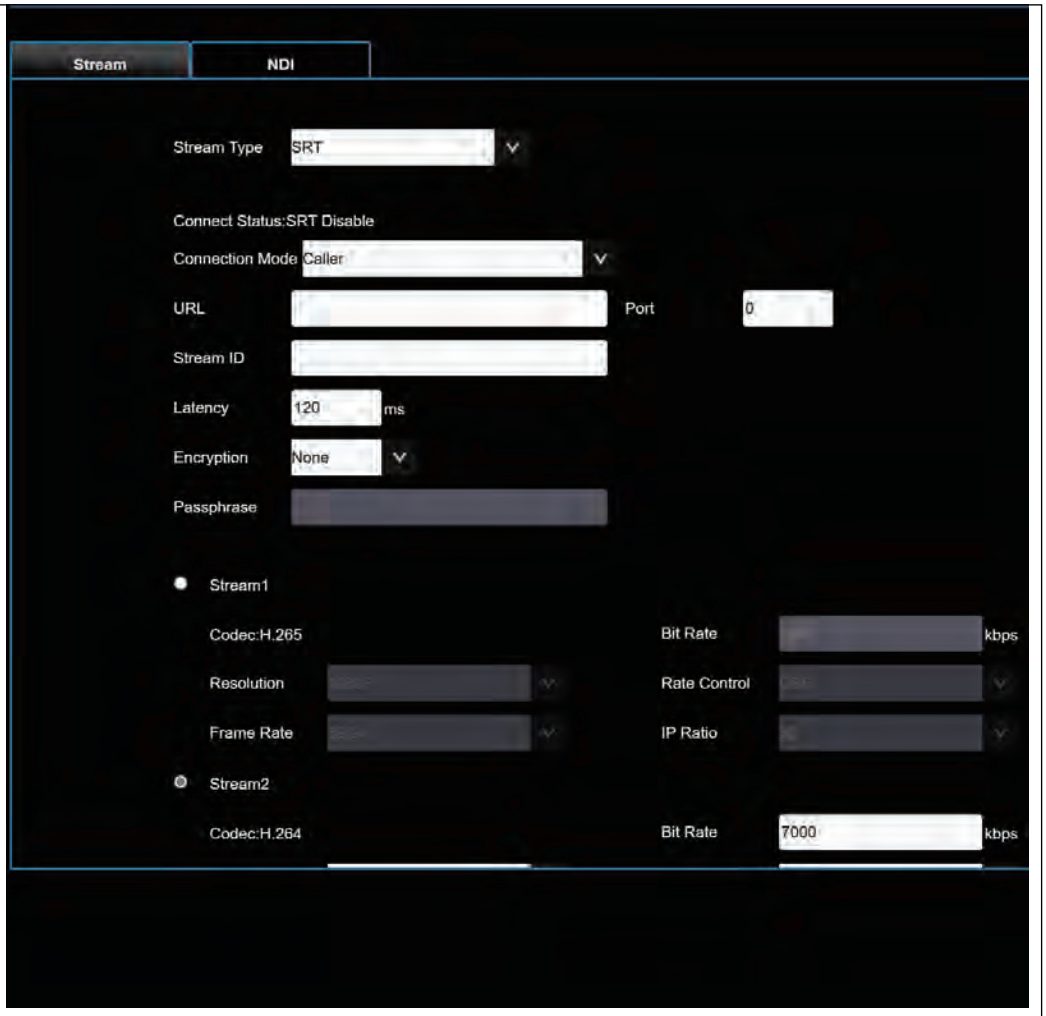
6.2.3 Stream - Stream

CV630-ND3/ND3W の場合、この機能に対応するには、 NDI|HX をオフにしてください。



No.	項　目	機能の説明
1	Stream Type	対応するタイプ: MPEG-TS/RTMP/RTMPS/RTSP/SRT
	RTSP	■Multicast の有効化/無効化 同時に映像を視聴しているオンラインユーザーが4人以上の場合は、Multicast を有効にすることを推奨します。 ■パスワード認証の有効化/無効化 ・RTSP接続フォーマットについては 6.1.3 RTSPプレーヤーを使用した映像の閲覧 を参照してください。 ・ユーザー名/パスワードはカメラのWebログインパスワードと同じです。アカウント情報の追加/変更については 6.2.10 System - User を参照してください。 ・Stream1/ 2/ 3：関連設定については、以下の 6.2.3.1 ストリーミングパラメータ設定表 を参照してください。

	MPEG-TS	 ■MPEG-TSフォーマットを設定 **<注>** ポート番号は1024以上、最大値は9999の範囲で設定してください。 **<注>** カメラは以下のポートを使用します。ポート番号 1935, 8080, 8554, 8556, 8557, 9090 の設定では、正しく接続されない場合があります。 ■Stream1/ 2：関連する設定については、以下の 6.2.3.1 ストリーミングパラメータ設定表 を参照してください。
	RTMP/ RTMPS	 ■RTMPサービスプラットフォームから提供される RTMP Webアドレスをコピーし、RTMP接続アドレスに貼り付けて、カメラ画像を RTMPサービスプラットフォームに公開します。 **<注>** YouTube にライブストリーミング用にアップロードするには、6.2.2 Audio を参照してオーディオ機能をオンにしてください。 ■Stream 2：関連する設定については、以下の 6.2.3.1 ストリーミングパラメータ設定表 を参照してください。

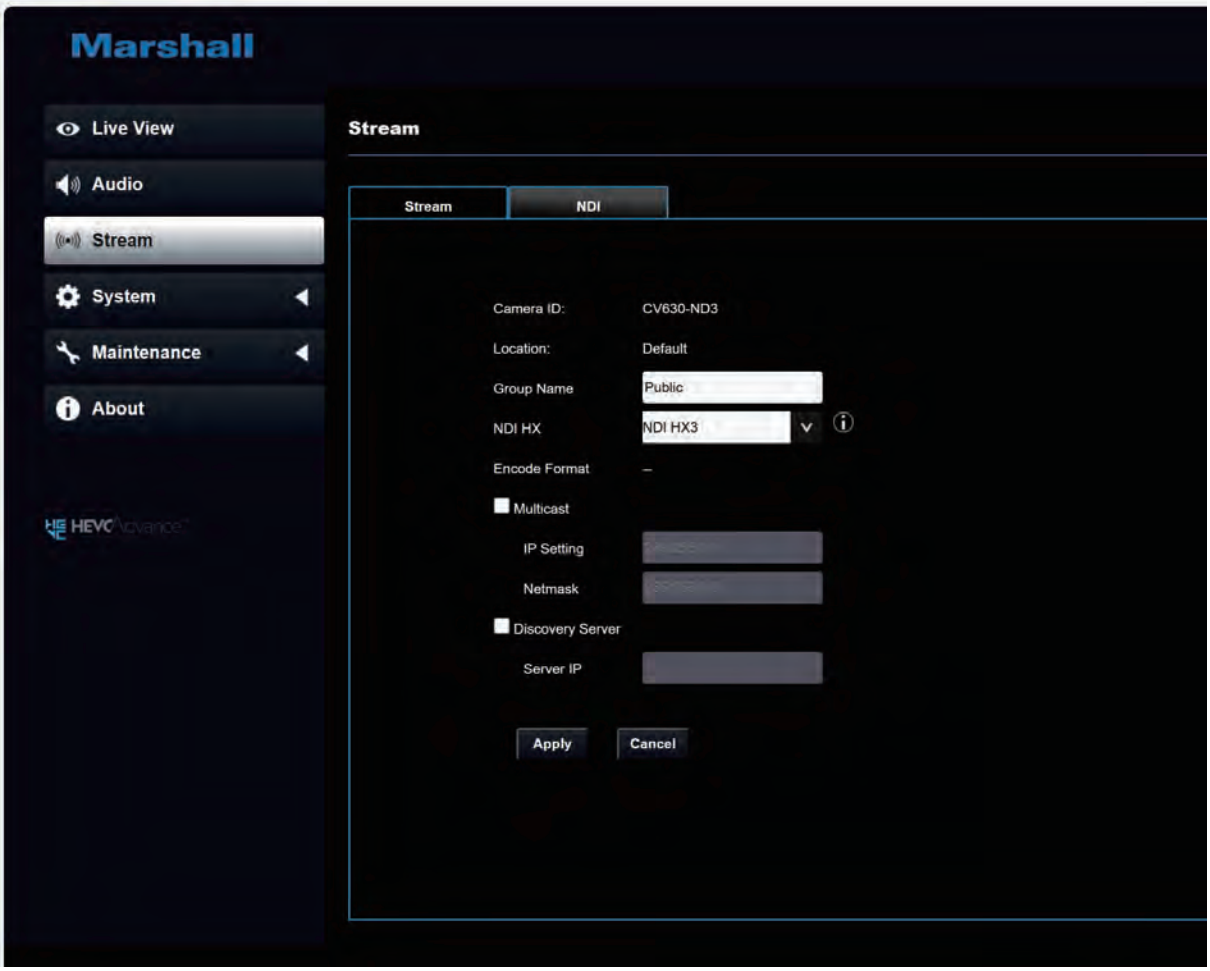
	SRT	 ■ポート番号は1024以上、最大値は9999の範囲で設定してください。 **<注記>** 以下のポートはカメラによって使用されます。ポートの設定によっては、正しく接続されない場合があります。 1935、8554、8555、8556、8557 ■ディレイ時間は20～8000マイクロ秒です。デフォルト値は120マイクロ秒です。 ■Stream1/ 2：関連する設定については、以下の 6.2.3.1 ストリーミングパラメータ設定表 を参照してください。

6.2.3.1 ストリーミングパラメータ設定表

機　能		Streaming 1	Streaming 2	Streaming 3
Encode Format（エンコード形式）		H.265	H.264	
Resolution（解像度）		4K	1080p / 720p /1080i	4K
Frame Rate（フレームレート）		対応する解像度に応じた設定		
Bit Rate(kbps)	2,000~20,000	2,000~20,000	2,000~20,000	512~5,000
	7,000	7,000	7,000	1,000
Rate Control（レート制御）		CBR / VBR		
IP Ratio（IP比率）		対応する解像度に応じた設定		

6.2.4 Stream - NDI

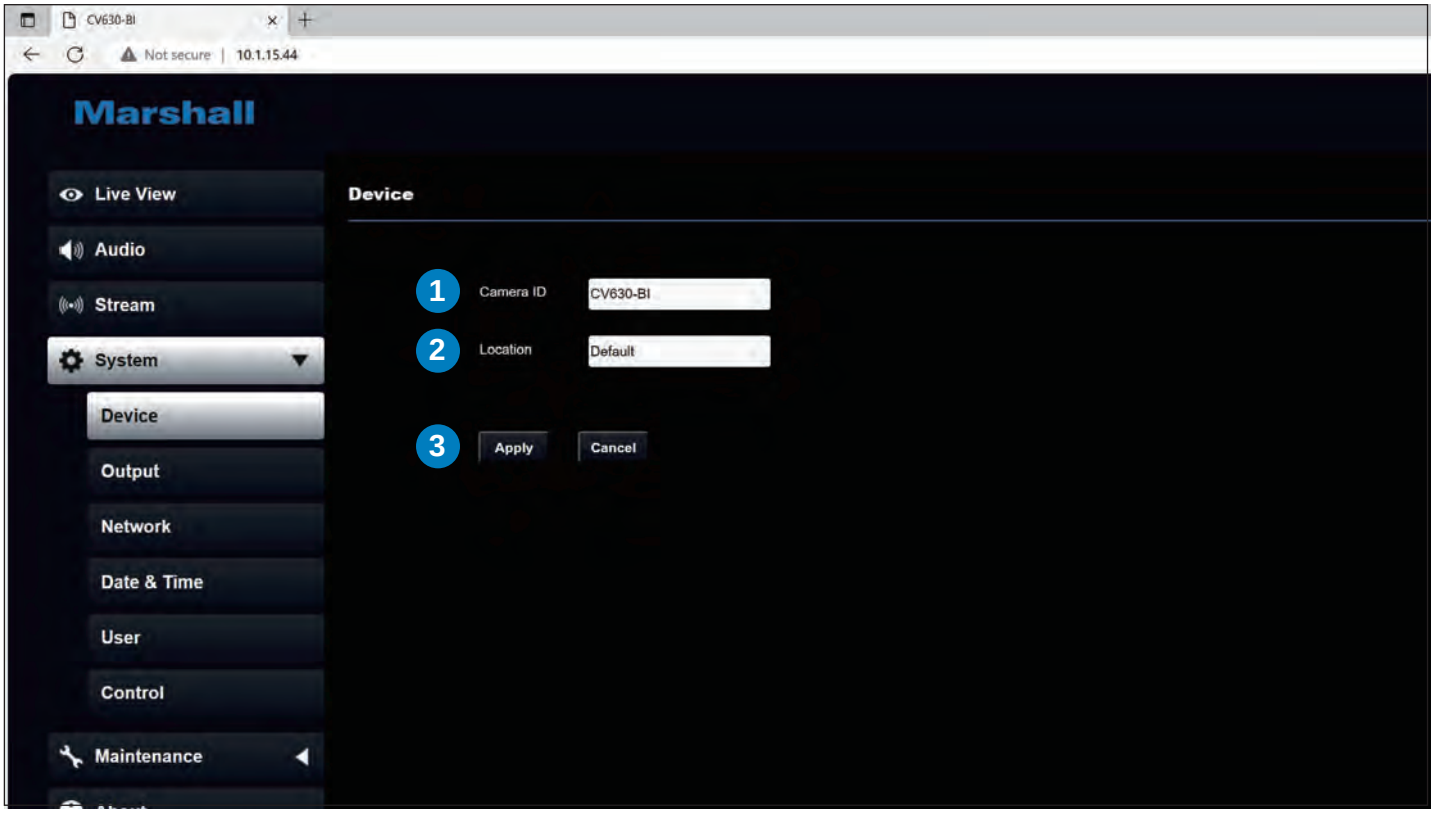
CV630-ND3/ND3W のみ。NDI|HX が HX2/HX3 に設定されている場合に設定できます。



No.	項　目	機能の説明
1	Camera ID/ Location	[System] > [Device] の設定内容に応じてID/場所を表示します
2	Group Name	グループ名はここで変更でき、NDIツールの [Access Manager - Receive] で設定できます。 ■グループが割り当てられていない場合、マシンはPublicに属します。Access Manager のデフォルトには Public が含まれているため、Studio Monitor はこのマシンを検出できます。 ■グループが割り当てられているが、そのグループが Access Manager に追加されていない場合、Studio Monitor はこのマシンを検出できません。 ■グループが割り当てられており、そのグループが Access Manager に追加されている場合、Studio Monitor はこのマシンを検出できます。 **<注記>** グループを区別するために、名前にカンマ(,)を含めることができます。例：default, 123, abc は、このマシンが同時に3つのグループに属していることを意味します（default/123/abc）。
3	NDI|HX	NDI HX 2/ HX3/ を Off に設定します ■Off：RTSP/RTMP/RTMPS/MPEG-TS/SRT に対応。ONVIF はデバイスを検出できますが、NDI ツールでは使用できません。 ■HX2：HX2 に対応 ■HX3：HX3 に対応 **< 注記 >** HX3 は 1080p 60/59.94/50 解像度のみに対応します。 **< 注記 >** HX2/HX3 が On の場合、ONVIF はデバイスを検出できず、RTSP/RTMP/RTMPS/MPEG-TS/SRT ストリームは使用できません。

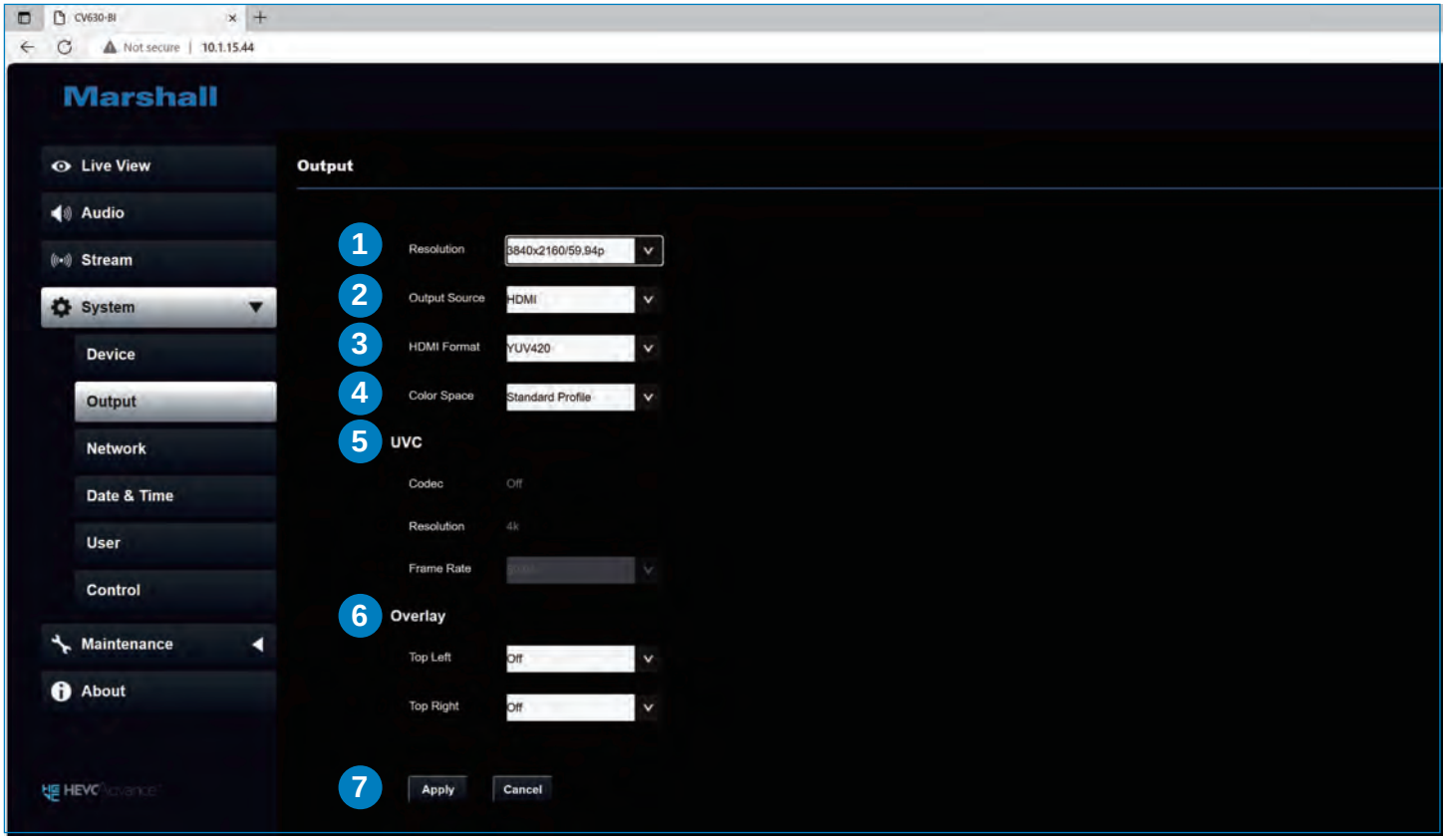
4	Encode Format	エンコード形式を表示します
5	Multicast	マルチキャスト設定。同時に4人以上のユーザーがオンラインで映像を視聴している場合は、マルチキャストを有効にすることをおすすめします。
6	Discovery Serve	サーバーのIPアドレスを入力するにはチェックを入れてください
7	Apply	設定を変更したら、このボタンを選択して設定を適用します

6.2.5 System - Device



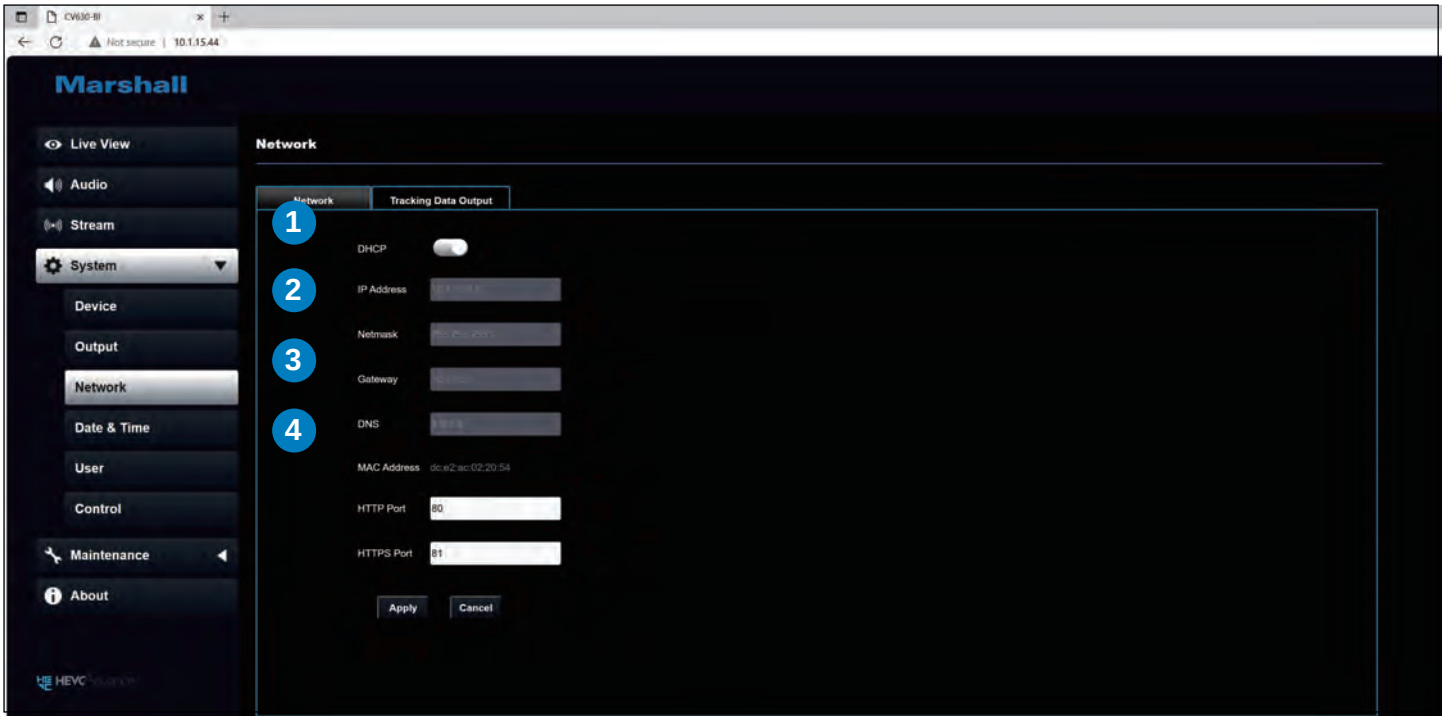
No.	項　目	機能の説明
1	Camera ID	ここでカメラIDを変更します ■カメラIDは1～12文字に制限されています。 ■文字は大文字、小文字、数字を組み合わせて使用してください。「/」や「スペース」などの特殊記号は使用できません。 **<注記>** このフィールドを変更すると、ONVIFデバイス名も同期して変更されます。
2	Location	カメラの位置を変更します（例：Room 1）。 ■カメラの位置は1～11文字に制限されています。 ■文字は大文字、小文字、数字を組み合わせて使用してください。「/」や「スペース」などの特殊記号は使用できません。 **<注記>** このフィールドを変更すると、ONVIFデバイスの位置情報も同期して変更されます。
3	Apply	設定を変更したら、このボタンを選択して設定を適用します

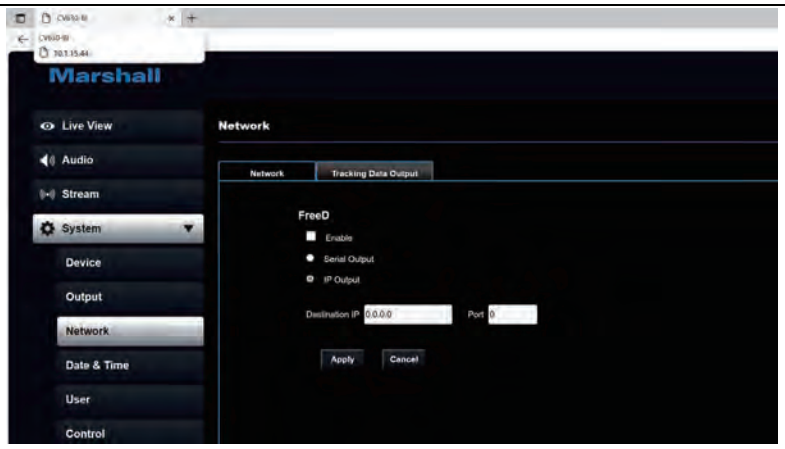
6.2.6 System - Output



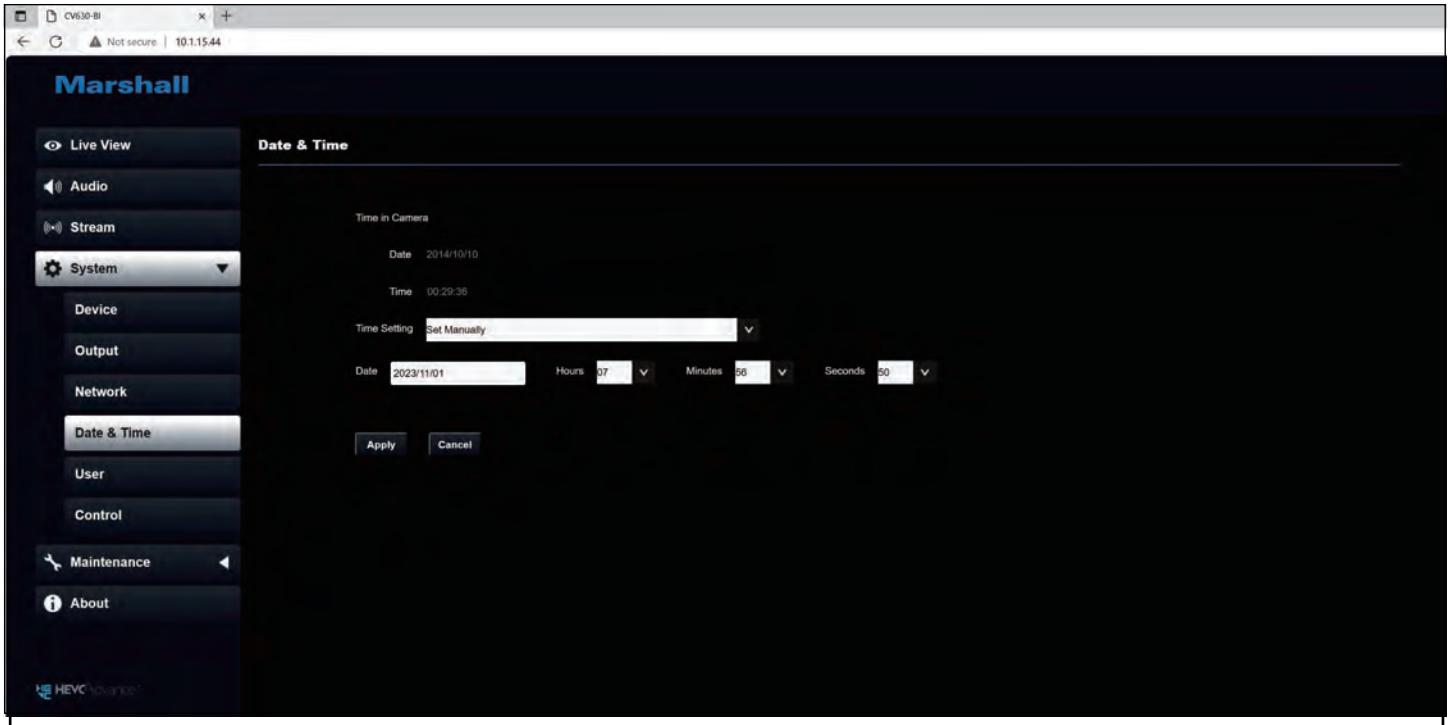
No.	項　目	機能の説明
1	Resolution	カメラの解像度を設定してください。 解像度を切り替えると、カメラが再起動します。ブラウザを更新してください。
2	Output Source	出力解像度に応じて、HDMI+NDI、HDMI+ ストリーミング、または HDMI+UVC 出力を選択できます。 **<注>** UVC 出力に設定した場合、3840 x 2160 30p 以下の解像度に対応します。 **<注>** UVC は 1080i に対応していません。
3	HDMI Format	YUV422 / YUV420 / RGB を選択してください。 **<注>** YUV420 に設定すると、3840 x 2160 60p/59.94p/50p の解像度に 対応します。
4	Color Space	色域の標準プロファイル/REC.709/BT.2020を設定します
5	UVC	System - Output - Output Source が HDMI+UVC に設定されている場合に利用できます。 ■エンコード形式： ・ 3840x2160 29.97fps / 25fps: H.264 ・ 1080p未満（1080pを含む）：H.264/MJPEG ■解像度：System - Output - Output Source に基づいて表示されます。 フレームレート：3840x2160では、最高29.97fpsのみ選択可能です。
6	Overlay	stream を [date and time] または [custom content] を表示し、位置情報を表示するように設定します
7	Apply/ Cancel	適用/キャンセル の設定

6.2.7 System - Network



No.	項　目	機能の説明
1	DHCP	カメラのネットワーク設定。DHCP機能がオフの状態で設定変更が可能です。
2	HTTP Port	HTTPポートを設定します。デフォルトのポート値は80です。
3	HTTPS Port	HTTPSポートを設定します。デフォルトのポート値は81です。
4	Tracking Data Output	 有効にすると、カメラが移動した際にPTZ位置情報を報告できます。 1. Serial Output：プロトコルをVISCA、ボーレートを38400に設定してください。 2. IP output：IPアドレスとポート番号を設定してください。 3. ポート番号は1024以上である必要があります。1935、8555、8556、8557は使用できません。 **<注>** トラッキングデータ出力を有効にすると、カメラのパフォーマンスに影響が出る可能性があります。

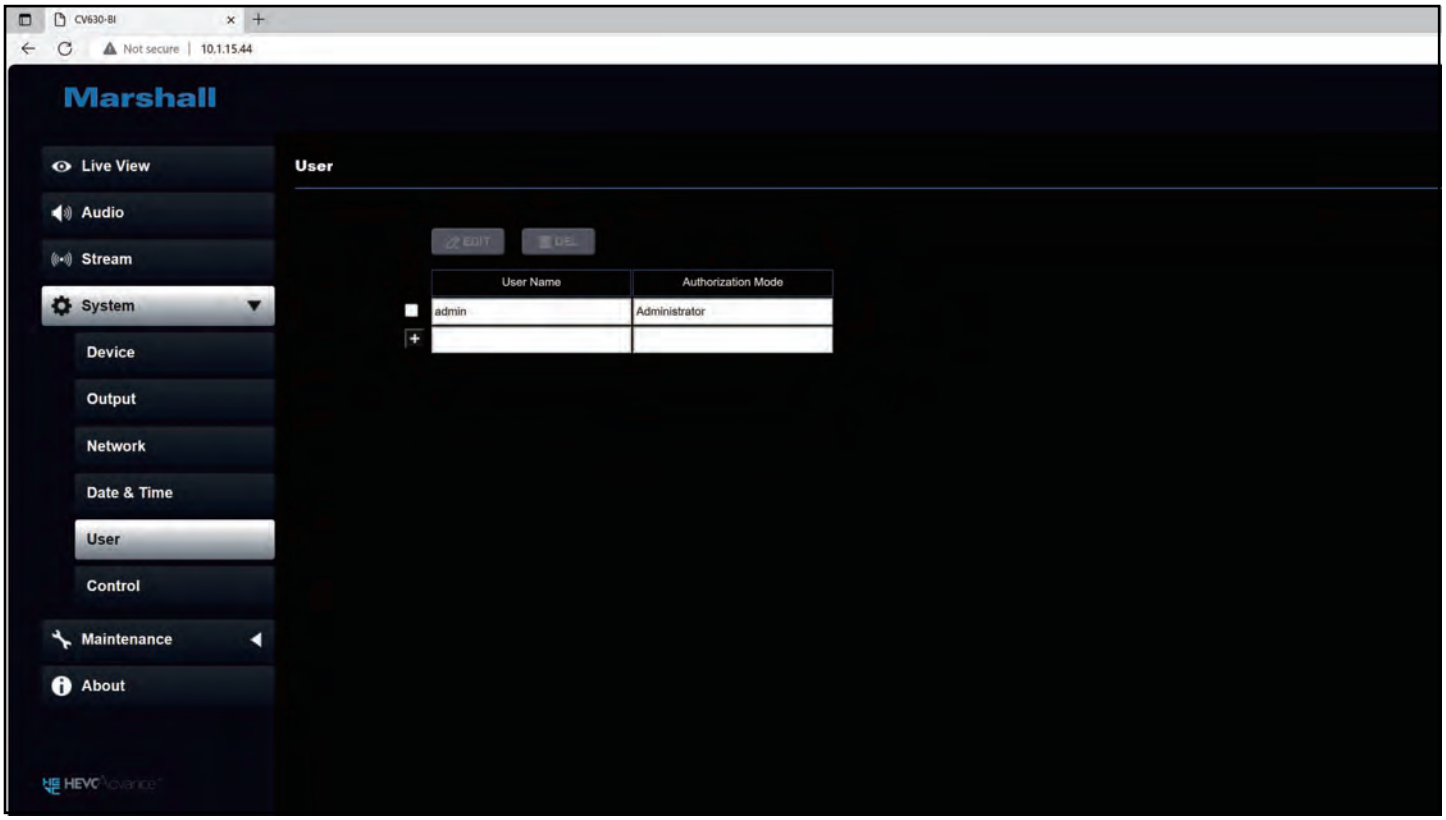
6.2.8 System - Date & Time



機能の説明

802.1x プロトコルを有効/無効にし、有効にした場合は設定を構成します。
<注> この機能を有効にするには、ルーターが 802.1x プロトコルに対応している必要があります。

6.2.9 System - User

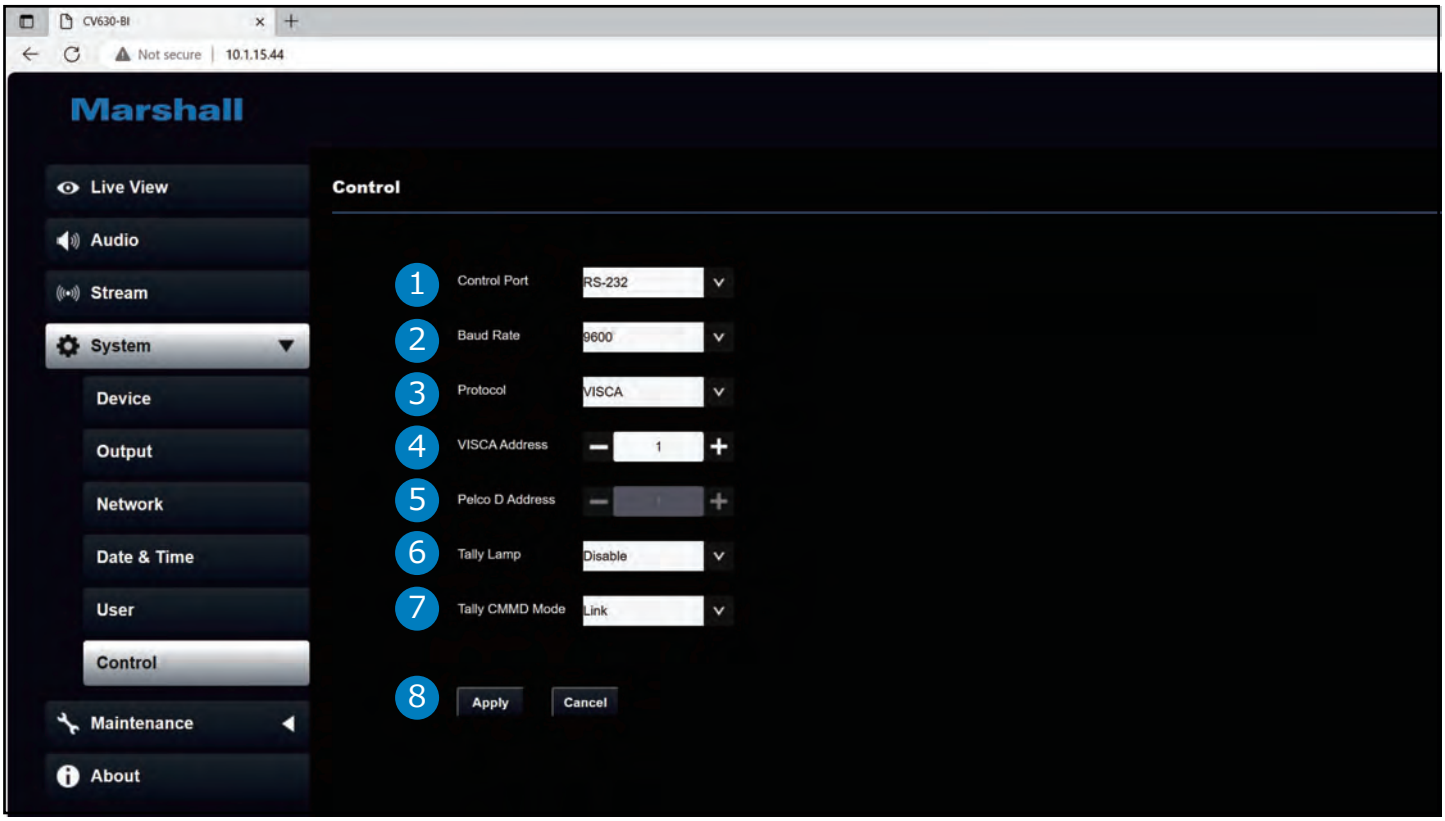


機能の説明

ユーザーアカウントの追加/変更/削除
■ユーザー名とパスワードは4～32文字まで使用できます。
■文字は大文字、小文字、または数字を組み合わせて使用してください。特殊記号や下線部は使用できません。
■認証モード：新しいアカウントの管理権限を設定します。
<注> ファクトリーリセットを実行すると、ユーザーのデータが消去されます。

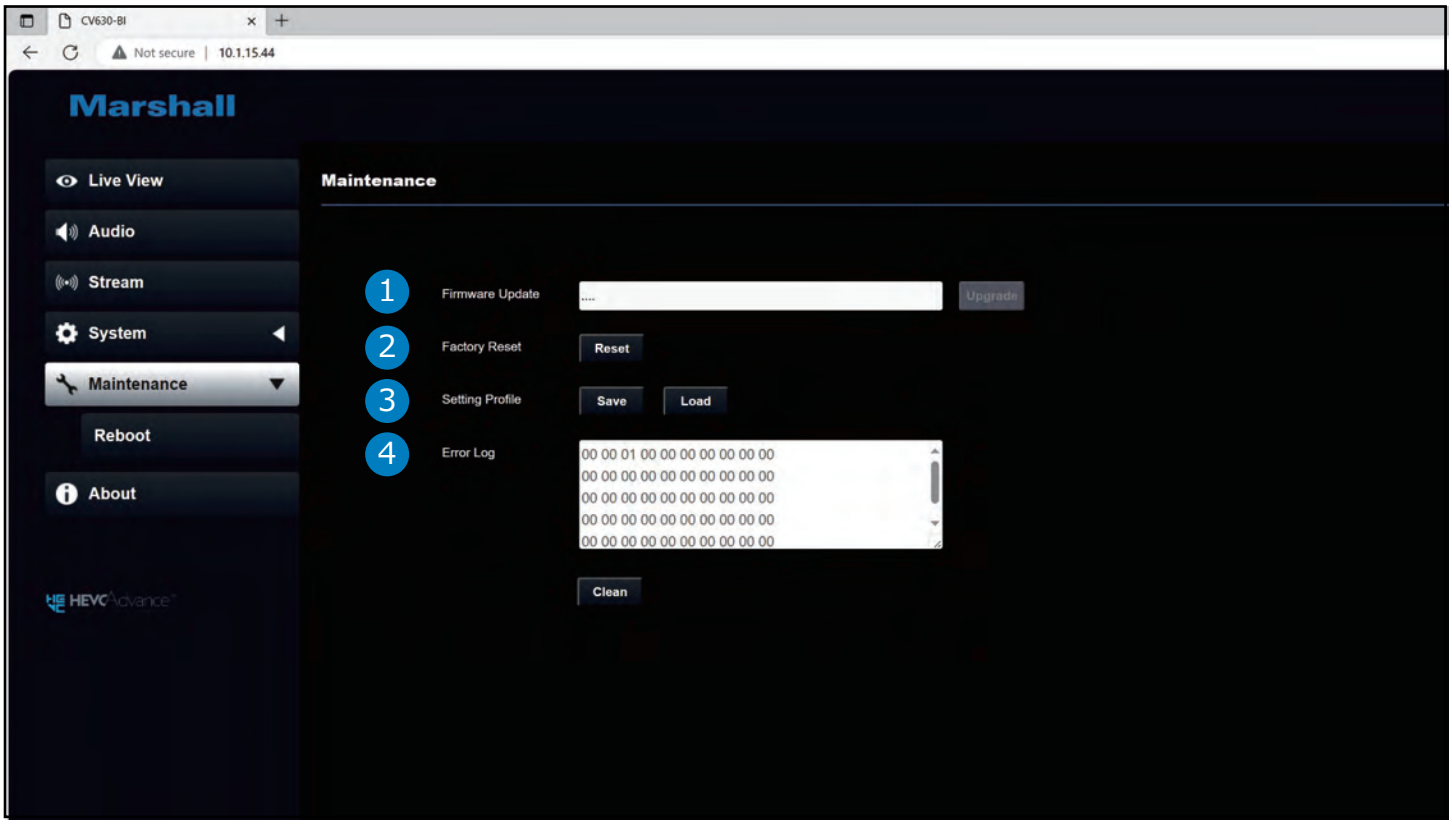
ユーザータイプ	Admin	Operator	Viewer
画像を見る	V	V	V
設定	V	V	X
アカウント管理	V	X	X

6.2.10 System - Control



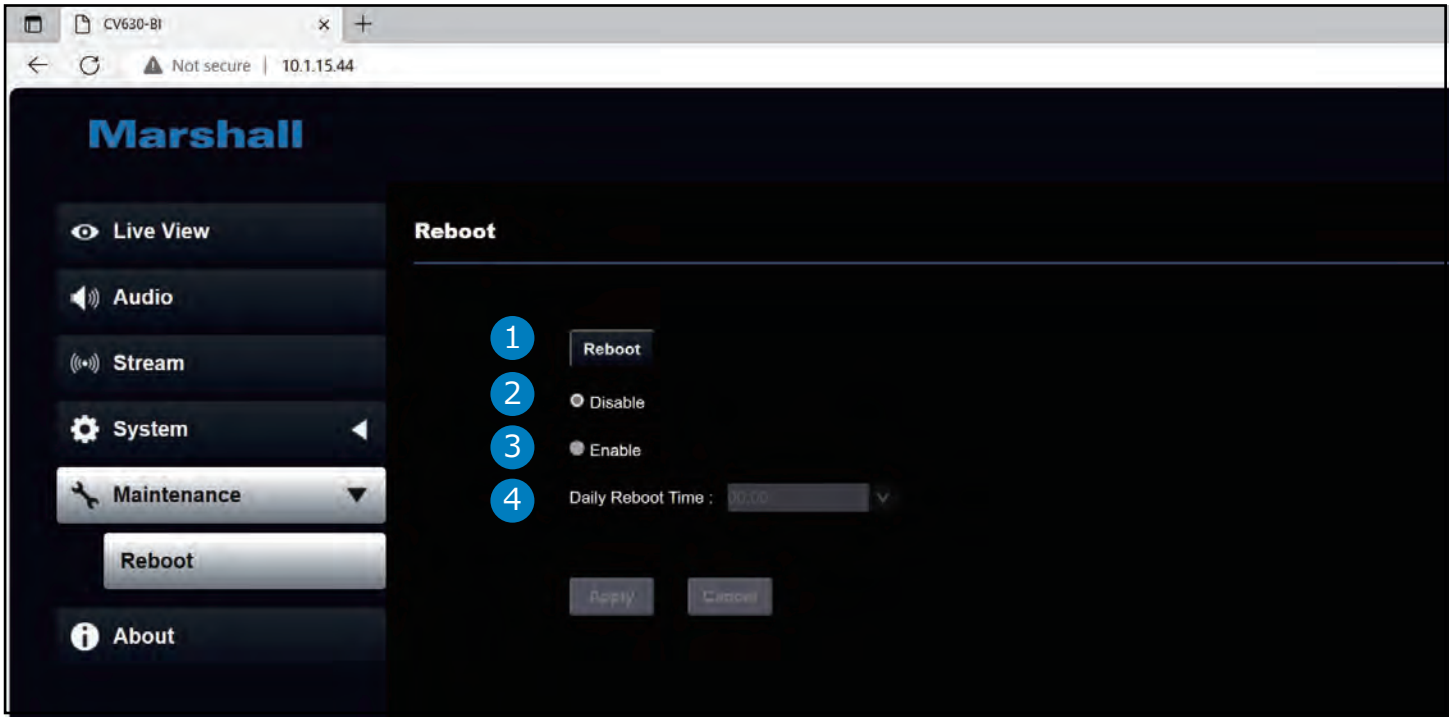
No.	項　目	機能の説明
1	Control Port	RS-232 / RS-422
2	Baud Rate	制御信号9600/38400の伝送速度を選択します
3	Protocol	VISCA/Pelco Dプロトコルをサポート
4	VISCA Address	カメラIDアドレス0～7を割り当てることができます。
5	Pelco D Address	カメラIDアドレス1～255を割り当てることができます。
6	Tally Lamp	タリーランプのオン/オフ
7	Tally CMMD Mode	インジケーターを RS232コマンドにリンクするかどうかを設定します。 ■Normal（リンクなし）：インジケーターライトの状態とモードは別々に設定する必要があります。 - インジケーターライトが点灯し、デフォルトモードがオフの場合、インジケーターライトモードを設定するには追加のコマンドが必要です。 - インジケーターライトがオフの場合、インジケーターライトは点灯しません。 ■Link： - インジケーターライトが点灯している場合、デフォルトモードは赤色点灯です。 - インジケーターライトがオフの場合、インジケーターライトは点灯します。
8	Apply/ Cancel	適用/キャンセル の設定

6.2.11 Maintenance



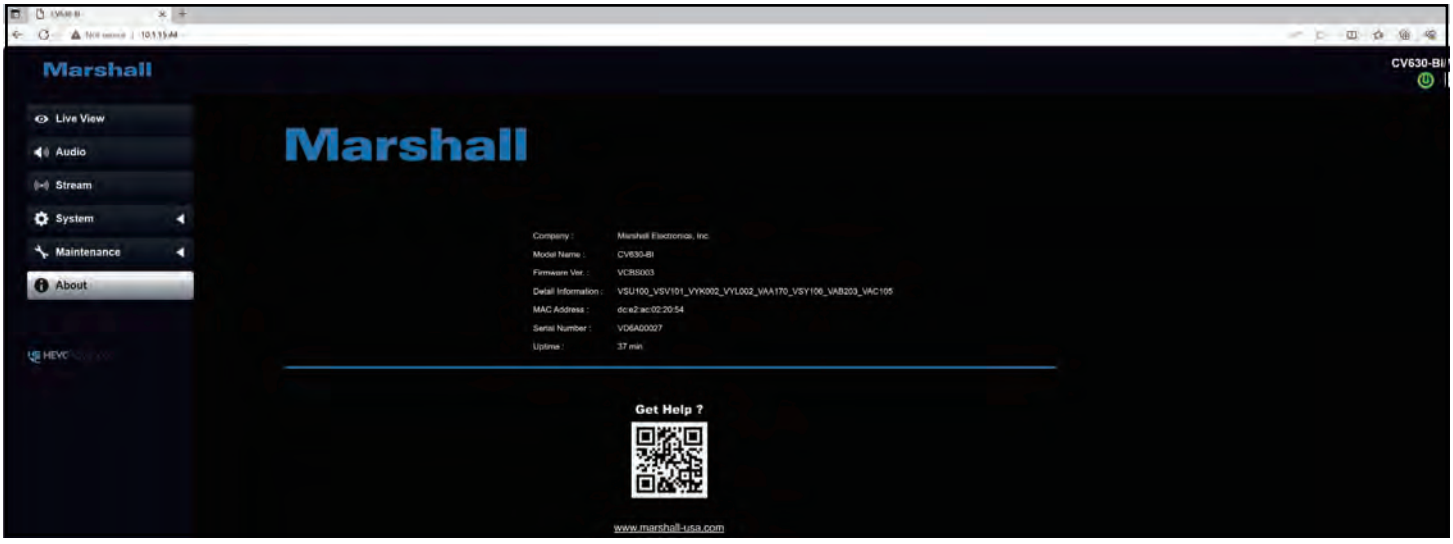
No.	項　目	機能の説明
1	Firmware Update	[....] をクリックしてファームウェアファイルを選択し、 [Upgrade] をクリックしてファームウェアを更新してください。 **<注>** 更新には約2～3分かかります。 **<注>** ファームウェアの更新が失敗する恐れがありますので、更新中はデバイスの操作や電源のオフは行わないでください。
2	Factory Reset	Reset ボタンを選択すると、Webページの設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。
3	Setting Profile	Webページの設定パラメータはコンピュータからエクスポートし、別のカメラに インポート/適用することができます。
4	Error Log	カメラにエラーが発生した場合、エラーコードログが作成されます。 **<注>** エラーコードが表示された場合、ユーザーは Clean をクリックしてエラーが再発するかどうかを確認できます。

6.2.12 Maintenance - Reboot



No.	項　目	機能の説明
1	Reboot	すぐに再起動します
2	Disable	再起動設定を無効にします
3	Daily Reboot	毎日の再起動時間を設定します <注> 毎日の再起動を設定するには、6.2.8 System –Date & Time の項に進み、SNTPサーバーとの同期を完了してください。
4	Timing Reboot	タイミング再起動時間を設定する

6.2.13 About



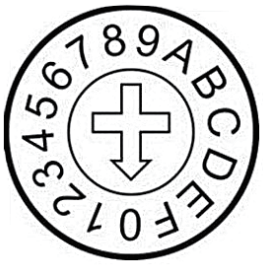
機能の説明
カメラのファームウェアバージョン、シリアル番号、稼働時間などの関連情報を表示します。 テクニカルサポートについては、右下のQRコードをスキャンしてお問い合わせください。

第７章 DIPスイッチ設定

7.1 DIPスイッチ

7.1.1 出力スイッチ

最後に実行したアクションに基づいて、OSD/RS-232コマンド経由で切り替えることもできます。



No.	解像度	フレームレート	備　考
0	3840 x 2160p	29.97	
1		25	
2	1920 x 1080p	59.94	
3		50	
4		29.97	
5		25	
6	1280 x 720p	59.94	
7		50	
8		29.97	
9		25	
A	1920x1080i	59.94	
B		50	
C	Reserved	Reserved	
D			
E			
F			

7.2 IRセレクト

リモコンを使用する場合は、リモコンの IR SELECT と Camera Select の設定が一致していることを確認してください。



ID	Setting
1	
2	
3	

第８章 トラブルシューティング

この章では、CV630-BI/WI/ND3/ND3W の使用中に発生する可能性のある問題について説明します。
ご不明な点がございましたら、関連章を参照し、提案されているすべての解決策に従ってください。
それでも問題が解決しない場合は、販売店にお問い合わせください。

No.	問　題	解決策
1.	電源信号なしで起動する	1. 電源コードが差し込まれていることを確認してください。 2. PoE接続を使用する場合は、電源がPOE+（IEEE 802.3at）ハブに対応していることを確認してください。
2.	カメラから画像出力がない	1. 電源またはPoE供給機能を確認してください。 2. 出力信号がストリーミング出力されていることを確認してください。 3. カメラの解像度がモニター機器で使用できるかどうかを確認してください。 ※4K出力の場合は、モニター機器が4K出力に対応していることを確認してください。 4. ケーブルを交換し、不具合がないか確認してください。
3.	カメラ画像が著しく遅延する	25/30 fps 信号ではなく、1080p または 720p 60/50 fps 信号を使用してください。
4.	RS-232が制御できない	1. 接続が正しいことを確認してください（RS-232入出力） 2. ボーレート設定が制御機器と一致していることを確認してください
5.	解像度 3840x2160 29.97/25 で3G-SDI出力しない	画面メニュー/DIPスイッチの設定をご確認ください。 3G-SDI は最大 1080p 59.94/50p の出力解像度に対応します。
6.	インターネットを操作に 使用できるかどうか	インターネットの使用については 6. ネットワーク機能設定の説明 を参照してください。
7.	ONVIFソフトウェアがマシンを 見つけることができない	Webページの [Setting]>[Video]> [Camera](Location) では、必ず英語のアルファベットまたは数字のみを使用してください。特殊文字を使用したり、スペースバーを押したりすると、ONVIFソフトウェアが機器の位置を特定できなくなります。 VC-A62N では、NDI または ONVIF のどちらでも使用できます。Webページの [Setting] > [Video] > [NDI|HX] に移動し、Off になっていることを確認してください。
8.	RS232設定を適用しても タリーランプが動作しない	設定メニューまたはWebページで、タリーランプ機能が有効になっていることを確認してください。 ■設定メニュー：System - Tally Lamp ■Webページ：Setting - Camera - Tally Lamp
9.	カメラが、再起動後に関連する パラメータ（PTZ、AWBなど） を保存しない	設定メニューまたはWebページで、初期位置が [Last MEM] に設定されていることを確認してください。 ■設定メニュー：System - Initial Position ■Webページ：Live View-Setting – Camera Setting  - Pan Tilt Zoom - Initial Position

Marshall

保 証

Marshall CV630-BI/WI は、通常の使用条件下でご使用ください。

ご購入日から1年間は無償修理保証の対象となります。
この保証はご購入者様のみに適用され、無償修理保証を依頼する場合には販売店へご連絡ください。
シリアル番号が不明な場合、修理をお受けできない場合がございます。
この保証は、製品の外装や装飾品には適用されません。設計または構造の誤用、異常な取り扱い、
変更または修正は、この保証を無効にします。
販売者またはその他の販売員の販売担当者は、上記以外の保証を行うこと、または上記の期間を超えて、
Marshall Electronicsに代わって保証期間を延長することはできません。
製品および製品の機能を常に改善するための努力により、仕様は予告なしに変更される場合があります。
保証期間内でも以下の場合は有償修理または、修理をお受けできない場合がございます。

- 誤った使用方法や不当な修理、改造等を行っていた場合。またそれによって生じた故障、損傷。
- 落下などによる故障、損傷。
- 火災、天災地変（地震、風水害、落雷等）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。

無償保証修理は日本国内においてのみ有効です。

サポート窓口

Marshall
株式会社M&Inext　Marshall事業部
〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町2-7-10 関内フレックスビル210
ＴＥＬ：045-415-0203　ＦＡＸ：045-415-0255
ＭＡＩＬ：contact@minext.jp　ＵＲＬ：https://marshall-japan.com/

本書を権利者の許可なく配布、インターネットでの公開等をすることは著作権法上禁止されております。
日本語訳・制作・著作　株式会社M&Inext　　2026年6月改訂